

ARIAKE NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

独立行政法人国立高等専門学校機構
有明工業高等専門学校

平成21年度

学校要覧

COLLEGE BULLETIN
2009

概 要	Introduction	1
緒 言	History	2
沿 革	Educational Principle	4
教 育 目 標	Educational Goals	5
学 習 ・ 教 育 目 標	Organization	6
組 織		
学 科	Department of General Education	8
一 般 教 育 科	Department of Mechanical Engineering	12
機 械 工 学 科	Department of Electrical Engineering	16
電 気 工 学 科	Department of Electronics and Information Engineering	20
電 子 情 報 工 学 科	Department of Chemical Science and Engineering	24
物 質 工 学 科	Department of Architecture	28
建 築 学 科		
専 攻 科	Advanced Engineering Course	32
専 攻 科	Advanced Production and Information Systems Engineering Course	33
生 産 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	Advanced Chemical Science and Engineering Course	34
応 用 物 質 工 学 専 攻	Advanced Architecture Course	35
建 築 学 専 攻	Curriculum(Advanced Engineering Course)	36
専 攻 科 教 育 課 程	Production System Engineering Program	38
「複合生産システム工学」プログラム		
施 設 ・ 組 織 等		
図 書 館 (マ ル チ メ デ ィ ア セ ン タ 図 書 情 報 管 理 部)	Library	40
情 報 処 理 セ ン タ ー (マ ル チ メ デ ィ ア セ ン タ 情 報 化 推 進 部)	Information Processing Center	41
総 合 研 究 棟	General Research Building	42
地 域 共 同 テ ク ノ セ ン タ ー	Regional Collaboration Center	43
教 育 研 究 技 術 支 援 セ ン タ ー	Technical Support Center for Education and Research	43
修 己 館 , 学 生 相 談 室	Shuko-Kan (Students' Hall), Student Counseling Room	44
進 路 支 援 室 ・ 有 友 情 報 室	Career Support Office, You-You Information Office	45
学 寮	Dormitory	46
活 動		
教 員 の 研 究 活 動	Research	47
地 域 と の 交 流	Regional Interchange	48
年 間 行 事 会	College Calendar	50
学 生 会	Student Council	51
各 種 大 会 成 績	The Principal Records of Meets and Contests	52
各 種 デ ー タ		
学 生	Students	54
学 科 別 学 生 定 員 ・ 現 員	Admission Capacity and Present Number of Students	54
専 攻 科 学 生 定 員 ・ 現 員	Admission Capacity and Present Number of Students (Advanced Engineering Course)	54
入 学 志 願 者 数 ・ 倍 率	Number of Applicants and Competitive Ratio of Entrance Examination	54
新 入 生 の 出 身 地	Hometown Classification of Students	55
学 生 通 学 状 況	Students' Residence	55
卒 業 生	Graduates	56
卒 業 生 数	Number of Graduates	56
卒 業 者 の 進 路 状 況	Employment or Academic Position of Graduates	56
大 学 編 入 学 ・ 高 専 専 攻 科 進 学 状 況	Entrance into Universities	56
就 職 状 況 一 覧 表	List of Employment	57
施 設	Facilities	58
校 舎 等 建 物 明 細	Details of College Buildings	58
施 設 配 置 図	Campus Map	59
ア ク セ ス マ ッ プ , 連 絡 先	Location, Contact Us	60

緒言 Introduction

本校は昭和38年に創立された国立の高等教育機関です。機械工学，電気工学，電子情報工学，物質工学，建築学の5学科からなり，各学科の入学定員は40名で，学生総定員は1,000名です。卒業生は6,245名にのぼり，各分野において広く社会の期待に応えて活躍しています。

高専教育の特色は，「5年間の一貫教育・基礎学力と実験実習を重んずる教育」による高度の実践的技術者の養成にあります。本校では，専門科目と一般科目を5年間にわたって有機的に配置した教育課程によって，大学工学部卒と同程度の深い専門知識と高い技術力を備えた実践的技術者の育成を目指しています。

平成13年には専攻科（生産情報システム工学専攻，応用物質工学専攻，建築学専攻）が設置され，165名の修士を輩出し，高度な技術者育成機関として一層の充実を図っています。

本校は大牟田・荒尾の各駅から5km離れた萩尾台（福岡県大牟田市）にあり，近くに三池山・小岱山の四季の緑，遠くに有明海を隔てて雲仙・多良岳を望むことができます。寄宿舎は，学校から歩いて5分のところにありながら，熊本県荒尾市に属し，校舎と寄宿舎の所在地が福岡，熊本両県に分かれています。

学校の願いは，このような恵まれた教育環境の中で，学生が，自主的に自己形成に努めることによって，科学的知見を人間の生活に役立つ「もの」として実体化し，価値を生み出すことに喜びを感じ，技術を通じて人類の繁栄に貢献することに誇りと自負を持ち，将来の日本を背負って立つ技術者に育つことです。

The Ariake kosen (Kosen means a college of technology) was founded as a national institute of higher education in 1963 and has five departments; mechanical engineering, electrical engineering, electronics and information engineering, chemical science and engineering, and architecture.

Each department has a class which consists of 40 students and the number of students to be admitted is 1,000. The Ariake Kosen has already sent 6,245 graduates out into various fields of the industrial world. Almost all of them have been playing a very important part in society.

The college arranges effectively both specialized and general educations into an curriculum, encourages students to be equal to university students in special knowledge and capacity, and trains them to be excellent practical engineers.

The Advanced Course, consisting of Advanced Production and Information Systems Engineering Course, Advanced Chemical Science and Engineering Course, Advanced Architecture Course, was founded in 2001, and 165 students having graduated, it is making further development as an institution to educate highly skilled engineers.

The campus lies on the hill called Hagio-dai which is on the outskirts of Omuta city, Fukuoka Pref. and is about 5km away from either of Omuta Station and Arao Station. The dormitory is located in the east of Arao city, Kumamoto pref. and it is 5 minutes' walk to the campus.

The students are supposed to develop cooperativeness, activeness, and creativity. The program helps them to lead a wholesome life in mind and body: Kosen advises them to cultivate friendship, trust in others and an attitude of harmony in various extracurricular activities as well.



沿革 History

昭和38年 4月1日	有明工業高等専門学校（機械工学科・電気工学科・工業化学科）が設置され、初代校長に熊本大学工学部長牛尾広恵就任
4月20日	荒尾市増永の仮校舎で開校
昭和39年 10月23日	大牟田市東萩尾の現校地に校舎新営工事を着工
昭和39年 3月25日	寄宿舎（若葉棟）竣工
昭和39年 3月31日	一般科目棟・管理棟竣工
昭和40年 3月17日	第2期新営工事竣工（電気工学科棟・工業化学科棟・機械工場・寄宿舎青葉棟）
昭和41年 3月27日	第3期新営工事竣工（機械工学科棟・体育館・寄宿舎紅葉棟）
昭和41年 4月1日	事務部制を実施し、庶務・会計の2課新設
昭和41年 10月11日	校舎落成式挙行
昭和42年 11月15日	武道場竣工
昭和43年 4月1日	建築学科増設
昭和43年 9月1日	第2代校長に元熊本大学工学部長菅田敏雄就任
昭和44年 3月20日	建築学科棟・寄宿舎銀杏棟竣工
昭和45年 4月1日	学生課新設
昭和45年 11月6日	校長菅田敏雄死去、同日付けで校長事務取扱に文部教官大石豊二郎就任
昭和46年 1月20日	第3代校長に元熊本大学工学部長轟一郎就任
昭和47年 2月25日	図書館棟竣工
昭和48年 11月1日	創立10周年記念式典挙行
昭和49年 3月30日	電子計算機室が図書館棟3階に竣工
昭和51年 3月9日	L.L.（語学演習室）教室が一般科目棟に竣工
昭和52年 2月28日	総合実習センター竣工
昭和53年 3月15日	寄宿舎地区生活排水処理施設竣工
昭和54年 3月19日	校舎地区排水処理施設竣工
昭和55年 3月31日	選択制教室棟竣工
昭和55年 4月1日	第4代校長に九州大学工学部教授吉村虎蔵就任
昭和55年 12月12日	事務用電子計算機室竣工
昭和56年 3月17日	第2体育館竣工
昭和57年 3月30日	環境開発教育研究施設竣工
昭和58年 3月11日	福利施設（修己館）竣工
昭和58年 10月29日	創立20周年記念式典挙行
昭和61年 4月1日	第5代校長に九州大学工学部教授竹村哲男就任
平成元年 4月1日	電子情報工学科増設
平成3年 3月20日	電子情報工学科棟竣工
平成4年 4月2日	第6代校長に元九州大学工学部長高松康生就任
平成5年 3月25日	寄宿舎女子棟（桜棟）竣工
平成5年 11月6日	創立30周年記念式典挙行
平成6年 4月1日	工業化学科を物質工学科に改組
平成8年 3月22日	物質工学科生物棟竣工
平成8年 3月28日	学内LAN竣工
平成9年 4月2日	第7代校長に元九州大学工学部長山藤 馨就任
平成9年 9月1日	地域連携推進センター設置
平成11年 4月1日	学生相談室設置
平成11年 11月18日	セクシャルハラスメント相談室設置
平成12年 3月15日	一般科目棟改修・合同教育棟・共通専門棟竣工
平成13年 4月1日	専攻科（生産情報システム工学専攻・応用物質工学専攻・建築学専攻）設置
平成13年 4月1日	教育研究技術支援センター設置
平成13年 9月25日	機械工学科棟・物質工学科棟改修
平成13年 11月30日	総合実習センター改修
平成14年 1月17日	地域共同テクノセンター設置
平成14年 4月1日	第8代校長に元九州大学工学部長尾崎龍夫就任
平成14年 9月30日	電気工学科・建築学科・第一体育館改修及び連絡通路（一般教育棟、建築学科棟間）竣工
平成15年 3月20日	総合研究棟竣工
平成15年 4月19日	創立40周年・総合研究棟竣工記念式典挙行
平成16年 4月1日	国立学校設置法の廃止及び独立行政法人国立高等専門学校機構法の施行に伴い、有明工業高等専門学校は、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する国立高等専門学校へ移行
平成17年 5月12日	「複合生産システム工学プログラム」がJABEE認定
平成17年 6月17日	中国遼寧石油化工大学との国際交流協定締結
平成18年 1月12日	大牟田病院との連携交流協定締結
平成18年 3月17日	連絡通路（一般教育棟、電子情報工学科棟間）竣工
平成18年 3月20日	独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施した高等専門学校機関別認証評価認定
平成18年 4月1日	マルチメディアセンター設置
平成18年 7月1日	進路支援室設置
平成18年 7月19日	有友情報室設置
平成18年 9月28日	現代的教育ニーズ取組支援プログラム採択
平成19年 3月23日	大牟田市教育委員会との連携協力協定締結
平成19年 7月30日	寄宿舎（青葉棟）改修
平成19年 12月28日	図書館棟改修
平成20年 3月24日	大牟田市との連携協力に関する包括協定書締結
平成20年 3月24日	帝京大学福岡医療技術学部と大牟田市による医工連携の推進に関する協定書締結
平成20年 4月2日	第9代校長に元九州大学大学院システム情報科学研究院長立居場光生就任



名誉教授 Emeritus Professors

授与年月日 Date Granted	氏名 Name	前職名 Previous Position
昭和59年5月17日 May. 17. 1984	木 本 知 男 KIMOTO, Tomoo	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
昭和63年4月21日 Apr. 21. 1988	松 島 寛 治 MATSUSHIMA, Kanji	建築学科教授 Prof. Architecture
平成元年4月13日 Apr. 13. 1989	樋 口 大 成 HIGUCHI, Hiroshige	一般科目教授 Prof. General Education
平成3年4月18日 Apr. 18. 1991	荒 木 三知夫 ARAKI, Michio	電気工学科教授 Prof. Electrical Engineering
平成4年4月24日 Apr. 24. 1992	竹 村 哲 男 TAKEMURA, Tetuo	五代校長 The fifth President of Ariake Kosen
平成7年4月20日 Apr. 20. 1995	成 富 孝 NARITOMI, Takashi	一般科目教授 Prof. General Education
平成8年4月18日 Apr. 18. 1996	玉 野 實 TAMANO, Minoru	建築学科教授 Prof. Architecture
平成8年4月18日 Apr. 18. 1996	吉 岡 義 雄 YOSHIOKA, Yoshio	建築学科教授 Prof. Architecture
平成8年4月18日 Apr. 18. 1996	中 村 安 生 NAKAMURA, Yasutaka	一般科目教授 Prof. General Education
平成9年4月15日 Apr. 15. 1997	高 松 康 生 TAKAMATSU, Yasuo	六代校長 The sixth President of Ariake Kosen
平成14年4月18日 Apr. 18. 2002	山 藤 馨 YAMAFUJI, Kaoru	七代校長 The seventh President of Ariake Kosen
平成15年4月17日 Apr. 17. 2003	永 田 良 一 NAGATA, Ryoichi	物質工学科教授 Prof. Chemical science and Engineering
平成16年4月15日 Apr. 15. 2004	吉 武 紀 道 YOSHITAKE, Norimichi	物質工学科教授 Prof. Chemical science and Engineering
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	田 口 紘 一 TAGUCHI, Koichi	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	原 田 克 身 HARADA, Katsumi	建築学科教授 Prof. Architecture
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	石 崎 勝 典 ISHIZAKI, Katsunori	共通専門教授 Prof. Common Technical Courses
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	瀬 戸 洋 SETO, Hiroshi	一般科目教授 Prof. General Education
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	宮 川 英 明 MIYAGAWA, Hideaki	共通専門教授 Prof. Common Technical Courses
平成18年4月13日 Apr. 13. 2006	猿 渡 眞 一 SARUWATARI, Shinichi	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
平成18年4月13日 Apr. 13. 2006	松 本 和 秋 MATSUMOTO, Kazuaki	物質工学科教授 Prof. Chemical science and Engineering
平成19年4月19日 Apr. 19. 2007	新 谷 肇 一 SHINYA, Choichi	建築学科教授 Prof. Architecture
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	尾 崎 龍 夫 OZAKI, Tatuo	八代校長 The eighth President of Ariake Kosen
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	山 下 巖 YAMASHITA, Iwao	一般科目教授 Prof. General Education
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	仁田原 元 NITAHARA, Hajime	一般科目教授 Prof. General Education
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	大 山 司 朗 OHYAMA, Shiro	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering



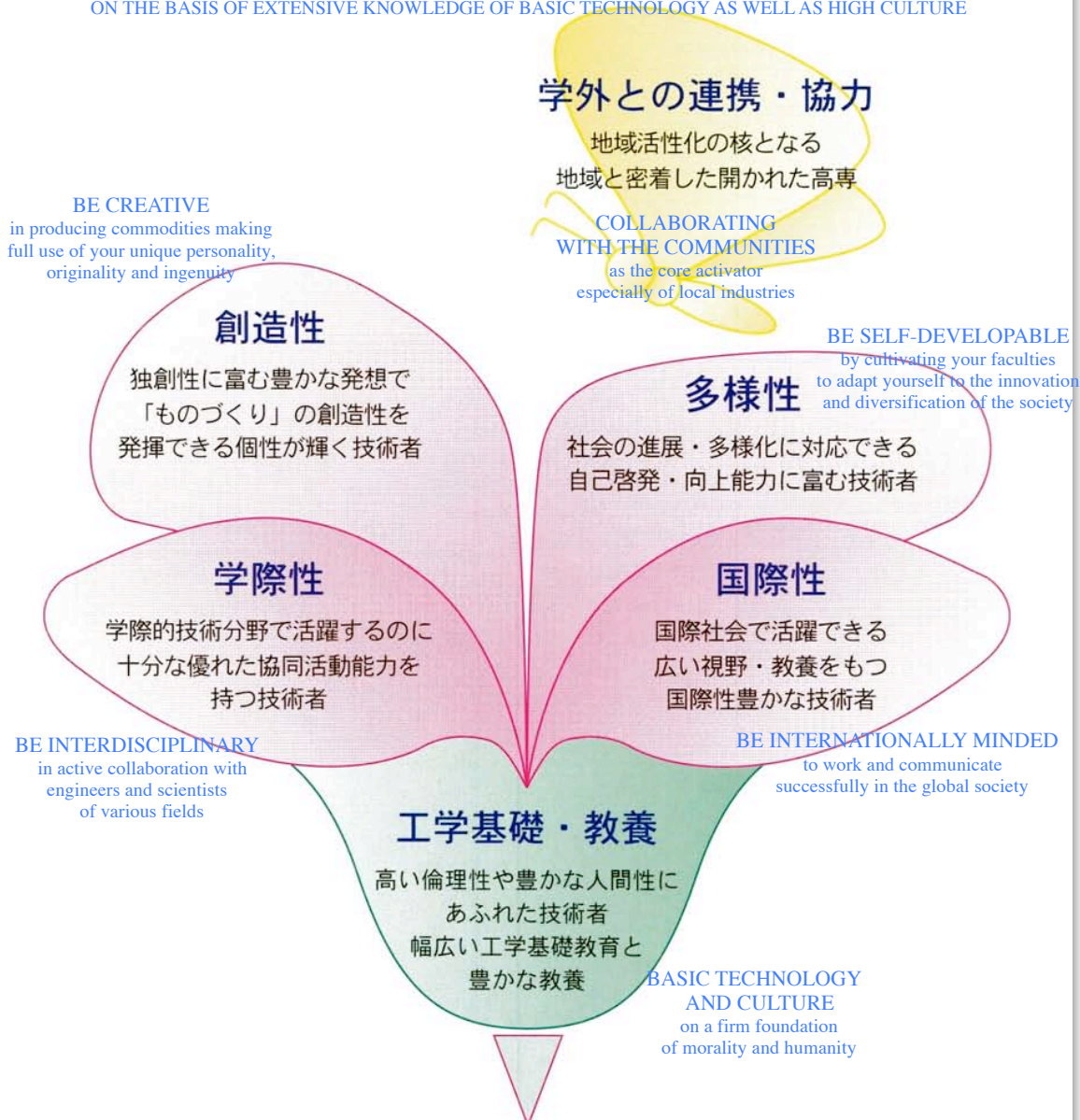
教育理念 Educational Principle

有明工業高等専門学校教育理念

THE EDUCATIONAL PRINCIPLE OF ARIAKE NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指す

OUR STUDENTS SHOULD BE EDUCATED TO BE TECHNOLOGICAL ENGINEERS CHARACTERIZED BY CREATIVITY, SELF-DEVELOPMENT, INTERDISCIPLINARITY, AND INTERNATIONALITY ON THE BASIS OF EXTENSIVE KNOWLEDGE OF BASIC TECHNOLOGY AS WELL AS HIGH CULTURE



人に優しい、自然と共存できる技術の開発を目指して
諸課題に柔軟に対応できる技術者

AIM AT COPING WITH PROBLEMS FLEXIBLY FOR THE GOAL OF DEVELOPING HUMAN-FRIENDLY TECHNOLOGY HARMONIZED WITH NATURAL ENVIRONMENT



学習・教育目標 Educational Goals

本科（1 学年から 5 学年） Regular Course

（A）地球的視野と国際性を備えた技術者

- （1）豊かな教養があり多角的に物事を捉える能力を備えている
- （2）技術と自然や社会などの係わり合いを理解し、技術者の社会的な責任を自覚する能力を備えている
- （3）日本語によるコミュニケーション能力（論理的記述力、口頭発表力、討議能力等）および英語によるコミュニケーション基礎能力を備えている

（B）専門知識と多様性・学際性を備えた技術者

- （1）系統的に修得した工学および専門分野の基礎知識を活用できる能力を備えている
- （2）専門分野における自己啓発・向上能力を備えている
- （3）学際領域の基礎知識と全体を把握する能力を備えている

（C）実践力と創造性を備えた技術者

- （1）ものづくり基礎教育で養われた創造的能力を備えている
- （2）論理的思考能力と課題探求・解決のための基礎能力を備えている
- （3）ものごとを計画的に進め期限内に終える能力を備えている

（A）Engineers with global visions and international minds

- （1）Equipped with profound culture to understand the situation from various points of view
- （2）Equipped with an understanding of the relationships between technology and nature or society to be aware of their social responsibility
- （3）Equipped with good language command for communication and presentation in Japanese and basic competency in foreign languages

（B）Engineers with discipline-specific knowledge combined with diversification and interdisciplinary understanding

- （1）Equipped with systematically acquired knowledge of engineering and the practical application of the knowledge in their special fields
- （2）Equipped with the ability to cultivate and develop themselves in their special fields
- （3）Equipped with the basic knowledge in interdisciplinary fields and the ability to grasp a situation in its totality

（C）Engineers with practical skills and creativity

- （1）Equipped with creativity nurtured through hands-on manufacturing
- （2）Equipped with fundamental logical thinking to identify potential problems and solve them
- （3）Equipped with the ability of planning and completing a project within the specified time limit

専攻科 Advanced Engineering Course

（A）地球的視野と国際性を備えた技術者

- （1）豊かな教養があり多角的に物事を捉える能力を備えている
- （2）高い倫理観を持ち環境保全に関する責任を自覚する能力を備えている
- （3）日本語や外国語によるコミュニケーション・発表能力を備えている

（B）専門知識と多様性・学際性を備えた技術者

- （1）系統的に修得した工学の基礎および専門分野の知識を備えている
- （2）専門分野における自己啓発・向上能力を備えている
- （3）幅広い専門知識と学際性を備えている

（C）実践力と創造性を備えた技術者

- （1）ものづくりで養われた実践的な創造性を備えている
- （2）論理的思考能力と課題探究・解決能力を備えている
- （3）ものごとを企画し計画的に進める能力を備えている

（A）Engineers with global visions and international minds

- （1）Equipped with high culture to understand the situation from various points of view
- （2）Equipped with a high ethical sense to be aware of their responsibility for environmental conservation
- （3）Equipped with good language command for communication and presentation in Japanese and also in foreign languages

（B）Engineers with discipline-specific knowledge combined with diversification and interdisciplinary understanding

- （1）Equipped with systematically acquired knowledge of basic engineering, and expertise of their discipline
- （2）Equipped with the ability to cultivate and develop themselves in their special fields
- （3）Equipped with extensive knowledge of their own discipline coupled with interdisciplinarity

（C）Engineers with practical skills and creativity

- （1）Equipped with creativity within practical skills nurtured through manufacturing
- （2）Equipped with logical thinking to explore potential problems and solve them
- （3）Equipped with the ability of planning and pursuing a project within the specified time limit



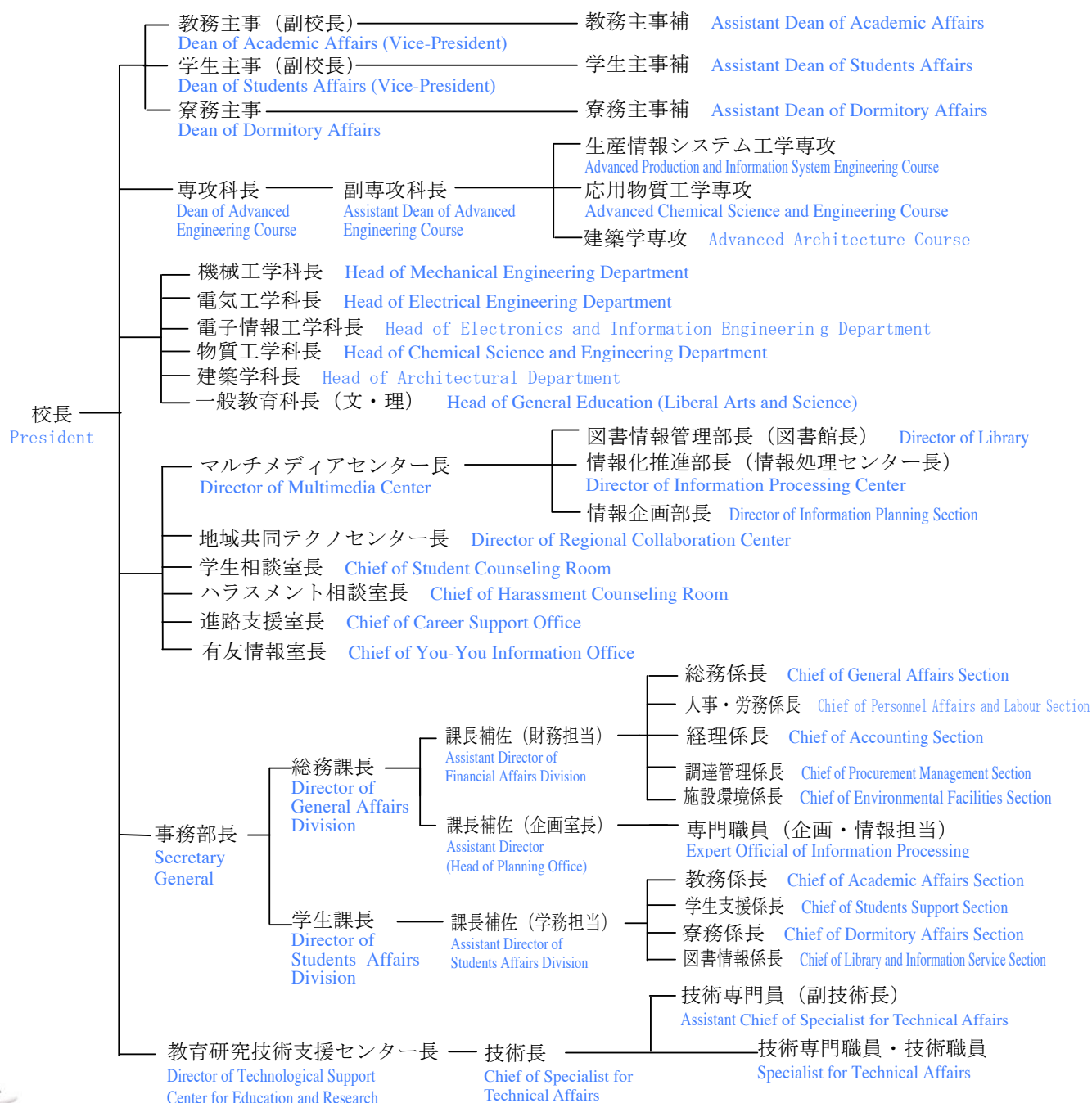
組織 Organization

定員および現員 Fixed and Present Number of Staff

区分 Classification	教育職員 Educational Personnel						事務係職員 Administ- rative Staff	合計 Grand Total
	校長 President	教授 Professor	准教授 Associate Professor	講師 Lecturer	助教 Assistant Professor	計 Total		
定員 Fixed Number	1	37	35	0	5	78	47	125
現員 Present Number	1	34	33	2	7	77	43	120

※平成 21 年 4 月 1 日現在 As of April, 2009

組織図 Chart of Administrative Organization



役職者名 Executive Directors

教育職名 Educational Personnel

校長 President	立居場 光 生 TATEIBA, Mitsuo
副校長（教務主事） Vice-President (Dean of Academic Affairs)	永 守 知 見 NAGAMORI, Tomomi
副校長（学生主事） Vice-President (Dean of Students Affairs)	中 島 洋 典 NAKASHIMA, Yosuke
寮務主事 Dean of Dormitory Affairs	上 原 修 一 UEHARA, Shuichi
専攻科長 Head of Mechanical Engineering Department	北 岡 敏 郎 KITAOKA, Toshiro
機械工学科長 Head of Mechanical Engineering Department	吉 田 正 道 YOSHIDA, Masamichi
電気工学科長 Head of Electrical Engineering Department	出 来 恭 一 DEKI, Kyouichi
電子情報工学科長 Head of Electronics and Information Engineering Department	内 海 通 弘 UCHIUMI, Michihiro
物質工学科長 Head of Chemical Science and Engineering Department	氷 室 昭 三 HIMURO, Shozo
建築学科長 Head of Architectural Department	薦 敏 和 TOBI, Toshikazu
一般教育科長（文） Head of General Education (Liberal Arts)	焼 山 廣 志 YAKIYAMA, Hiroshi
一般教育科長（理） Head of General Education (Science)	荒 木 眞 ARAKI, Makoto
マルチメディアセンター長 Director of Library	焼 山 廣 志 YAKIYAMA, Hiroshi
図書館長 Director of Library	焼 山 廣 志 YAKIYAMA, Hiroshi
情報処理センター長 Director of Information Processing Center	松 野 良 信 MATSUNO, Yoshinobu
地域共同テクノセンター長 Director of Regional Collaboration Center	泉 勝 弘 IZUMI, Katsuhiro
教育研究技術支援センター長 Director of Technological Support Center for Education and Research	南 明 宏 MINAMI, Akihiro
学生相談室長 Chief of Student Counseling Room	徳 田 仁 TOKUDA, Hitoshi
ハラスメント相談室長 Chief of Harassment Counseling Room	吉 田 正 道 YOSHIDA, Masamichi
進路支援室長 Chief of Career Support Office	塚 本 俊 介 TSUKAMOTO, Shunsuke
有友情報室長 Chief of You-You Information Office	川 寄 義 則 KAWASAKI, Yoshinori

事務職名 Administrative Staff

事務部長 Secretary General	篠 原 一 夫 SHINOHARA, Kazuo
総務課長 Director of General Affairs Division	今 村 文 昭 IMAMURA, Fumiaki
学生課長 Director of Students Affairs Division	高 嶋 重 俊 TAKASHIMA, Shigetoshi
課長補佐（財務担当） Assistant Director of Financial Affairs Division	小 川 英 利 OGAWA, Hidetoshi
課長補佐（企画室長） Assistant Director (Head of Planning Office)	中 川 日出光 NAKAGAWA, Hidemitsu
課長補佐（学務担当） Assistant Director of Students Affairs Division	栗 原 宏 明 KURIHARA, Hiroaki
専門職員（企画・情報担当） Expert Official of Information Processing	原 賀 亮 治 HARAGA, Ryouji
総務係長 Chief of General Affairs Section	小 宮 俊 幸 KOMIYA, Toshiyuki
人事・労務係長 Chief of Personnel Affairs and Labour Section	吉 田 覚 YOSHIDA, Satoru
経理係長 Chief of Accounting Section	藤 丸 今 日 子 FUJIMARU, Kyoko
調達管理係長 Chief of Procurement Management Section	右 田 信 明 MIGITA, Nobuaki
施設環境係長 Chief of Facilities Section	安 部 準 次 ABE, Junji
教務係長 Chief of Academic Affairs Section	奥 苑 登 志 子 OKUZONO, Toshiko
学生支援係長 Chief of Students Support Section	上 田 隆 二 UEDA, Takazi
寮務係長 Chief of Dormitory Affairs Section	右 田 末 子 MIGITA, Sueko
図書情報係長 Chief of Library and Information Section	有 田 順 一 ARITA, Junichi
技術長 Chief of Specialist for Technical Affairs	河 村 英 司 KAWAMURA, Eiji
技術専門員 Assistant Chief of Specialist for Technical Affairs	松 原 征 男 MATSUBARA, Seio
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	松 川 真 也 MATSUKAWA, Shinya
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	堀 田 孝 之 HORITA, Takayuki
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	岡 崎 朋 広 OKAZAKI, Tomohiro
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	森 田 恵 一 MORITA, Keiichi



一般教育科（全学科共通） Department of General Education

高専の目的は広い視野をもった高度の実践的技術者を養うことであり、その基礎となる科目および豊かな教養と体力を身につけるための科目を担当しているのが一般教育科です。

高校から大学2年程度までの科目を5年間の一貫教育のなかで、学生の発達段階に応じて教授するようになっています。文系（国語・社会・外国語）11名、理系（数学・理科・体育）13名の教員が、非常勤講師とともに、それぞれ専門とする分野を担当し、各教科を通じて学生の基礎学力の養成に工夫努力しています。

The principal aim of colleges of technology is to prepare students to be able engineers equipped with the right perspective and highly advanced technical competence. Through various subjects Department of General Education helps the students to get a basic knowledge of technology, cultivate their mind, and develop their physical strength, so that they will grow up to be eager students.

In the course of the 5-year education system various subjects (from high school level to sophomore level) are taught. There are 11 teachers of the humanities (Japanese, social studies, and foreign languages) as well as 13 of science subjects (mathematics, physics, chemistry, and physical education), making every possible effort to help the students to acquire basic knowledge and competence indispensable for their future career.

アドミッションポリシー（求める学生像(全学科共通)） Admission Policy

本校は、本科5年間と専攻科2年間で有機的に連携させた7年間の教育プログラムで、幅広い工学基礎と豊かな教養をもとに、夢をもち、創造性に富み、国際的に通用し、さまざまな工学の分野に果敢にチャレンジする技術者の育成を目指しています。このために、有明高専では次のような人を求めています。

- 1) 「ものづくり」に興味をもっている人
- 2) 技術者への志をもっている人
- 3) 社会貢献への志をもっている人
- 4) 高い目標に挑戦する意欲のある人
- 5) 協調性があり、積極的に実践する人

Ariake National College of Technology offers a seven-year education program by an organic combination of a five-year regular course and a two-year advanced engineering course. We aim to develop engineers ambitious, creative and internationally-minded enough to brave challenging technological fields. The students who enter our Regular Course are expected:

- 1) to be interested in design and manufacturing
- 2) to be motivated to be engineers
- 3) to be motivated to contribute to society
- 4) to be motivated to achieve challenging goals
- 5) to be willing to take actions in cooperation with others



▲文学Ⅱの授業
Literature II Class



▲LLによる英語の授業
English Class at Language Lab.



教育課程（一般科目（各学科共通）） Curriculum (General Education)

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備 考 Notes		
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th			
必修 Required Subjects	国語 Japanese	文学Ⅰ Literature I		3	3							
		文学Ⅱ Literature II		2		2						
	数学 Mathematics	基礎解析学 Fundamental Analysis		4	4							
		解析学Ⅰ Analysis I		4		4						
		解析学Ⅱ Analysis II		3			3					
	理科 Science	基礎物理学 Fundamental Physics		5	2	3						
		化学Ⅰ Chemistry I		3	3							
		化学Ⅱ Chemistry II		2		2						
	保体 Health & Physical Education	保健体育 Health Education		5	3	2						
外国語 Foreign Languages	英語Ⅰ English I		5	3	2							
	英語Ⅱ English II		6	3	3							
	小計 Subtotal		42	21	18	3	0	0				
選択 Elective Subjects	国語 Japanese	文学Ⅲ Literature III		2			2			(後期開設科目) この中から 1科目選択		
		日本語コミュニケーションⅠ Japanese Communication I		1				1				
	社会 Social Studies	地理学 Geography		2	2							
		歴史学 History		2		2						
		社会学 Sociology, Ethics and Philosophy		2		2						
	数学 Mathematics	政治学・経済学 Politics and Economics		1			1					
		基礎数学Ⅰ Fundamental Mathematics I		2	2							
		基礎数学Ⅱ Fundamental Mathematics II		1	1							
		代数・幾何 Algebra and Geometry		3		2	1					
		数学特講 Topics in Mathematics		1			1					
	理科 Science	数学演習 Exercises in Mathematics		1				1				
		生物 Biology		1		1						
	保体 Health & Physical Education	保健体育 Health Education		2			2					
		体育実技 Physical Education		2				1	1			
	芸術 Arts	音楽 Music		1	1							
		美術 Fine Arts		1		1						
	外国語 Foreign Languages	英語コミュニケーションA English Communication A		3			3					
		英語コミュニケーションB English Communication B		2			2					
		英語 English		4				2	2			
		英会話 English Conversation		1			1					
		英語演習Ⅰ English Seminar I		1				1				
	小計 Subtotal			36	6	8	13	6	3			
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	文系選択 Humanities Elective	日本語コミュニケーションⅡ Japanese Communication II		1			1				(後期開設科目) この中から 1科目選択
			社会科学Ⅰ Social Science I		1			1				
			環境科学Ⅰ Environmental Science I		1			1				
			人間科学Ⅰ Human Science I		1			1				
			英語演習Ⅱ English Seminar II		1			1				
		社会選択 Social Studies Elective	第二外国語Ⅰ Second Foreign Languages I		1			1				(前期開設科目) この中から 1科目選択
			社会科学Ⅱ Social Science II		1				1			
			環境科学Ⅱ Environmental Science II		1				1			
		語学選択 Language Elective	人間科学Ⅱ Human Science II		1				1			この中から 1科目選択
			文学特講 Lecture on Literature		1				1			
			英語演習Ⅲ English Seminar III		1				1			
		数学選択 Mathematics Elective	第二外国語Ⅱ Second Foreign Languages II		1				1			この中から 1科目選択
			複素関数論 Complex Analysis		1				1			
			ベクトル解析 Vector Analysis		1				1			
			フーリエ解析 Fourier Analysis		1				1			
		統計学 Statistics			1				1			
	小計 Subtotal			16	0	0	0	6	10			
開設単位数 Total of Credits Offered				94	27	26	16	12	13	授業外科目を除く		
修得可能単位数 Earnable Credit				82	27	26	16	7	6			
授業外科目		ボランティア活動 Volunteer Activities		1	1							
		小計 Subtotal		1								
特別活動 Special Curricular Activities				時間数 Hours	学年別単位時間数 Credit Hours by Grades							
				90	30	30	30					

授業外科目を除く



常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (文学修士)	焼 山 廣 志 YAKIYAMA, Hiroshi	文学Ⅰ, 日本語コミュニケーションⅠ,Ⅱ LiteratureⅠ, Japanese LiteratureⅠ,Ⅱ	和漢比較文学(平安期) Comparative Literature (Heian Era)
助教 Assistant Professor (文学修士)	菱 岡 憲 司 HISHIOKA, Kenji	文学Ⅰ,Ⅱ, 日本語コミュニケーション LiteratureⅠ,Ⅱ, Japanese CommunicationⅠ,Ⅱ	日本近世文学 Japanese early modern Literature,
教授 Professor (学術修士)	中 島 洋 典 NAKASHIMA, Yosuke	地理学, 環境科学Ⅰ,Ⅱ Geography, Environmental ScienceⅠ,Ⅱ	地形学 Geomorphology
教授 Professor (文学修士)	山 口 英 一 YAMAGUCHI, Eiichi	社会学,人間科学Ⅰ,Ⅱ, 政治学・経済学 Sociology, Ethics and Philosophy, Human ScienceⅠ,Ⅱ, Politics and Economics	インド哲学史 Indian Philosophy
准教授 Associate Professor (修士(教育学))	谷 口 光 男 TANIGUCHI, Mitsuo	歴史学, 政治学・経済学, 社会科学Ⅰ,Ⅱ History, Politics and Economics, Social Science Ⅰ,Ⅱ	アイルランド中世史 Medieval Irish History
教授 Professor (文学修士)	徳 田 仁 TOKUDA, Hitoshi		ワーズワースの研究 W. Wordsworth
教授 Professor (博士(教育学))	安 部 規 子 ABE, Noriko		英語教育 Teaching English as a Foreign Language
教授 Professor (文学修士)	三 戸 健 司 MITO, Kenji	英 語Ⅰ,Ⅱ, 英語コミュニケーションA, B, 英会話, 英語, 英語演習Ⅰ EnglishⅠ,Ⅱ, English Communication A,B English Conversation, English, English SeminarⅠ	英語学 English
准教授 Associate Professor (文学修士)	村 田 和 穂 MURATA, Kazuho		英語文献学 English Philology
准教授 Associate Professor (哲学修士)	リチャード・グランバイン GRUMBINE, Richard		英語教育 Teaching English as a Second Language
准教授 Associate Professor (文学修士)	山 崎 英 司 YAMASAKI, Eiji		アメリカ文学 American Literature
教授 Professor (博士(数理学))	荒 木 眞 ARAKI, Makoto		解析学 Analysis
教授 Professor (理学修士)	坂 西 文 俊 SAKANISHI, Fumitoshi	基礎解析学, 基礎数学Ⅰ,Ⅱ, 解析学Ⅰ, 代数・幾何, 解析学Ⅱ, 数学特講, 応用数学Ⅰ,Ⅱ, 数学演習 Fundamental Analysis, Fundamental MathematicsⅠ,Ⅱ, AnalysisⅠ,Ⅱ, Algebra and Geometry, Topics of Mathematics, Applied MathematicsⅠ,Ⅱ, Exercises in Mathematics	多変数複素関数論 Function Theory in Several Complex Variables
教授 Professor (博士(工学))	村 岡 良 紀 MURAOKA, Yoshinori		統計物理学 Statistical Physics
准教授 Associate Professor (博士(数理学))	西 山 治 利 NISHIYAMA, Harutoshi		数理統計学 Mathematical Statistics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	田 中 彰 則 TANAKA, Akinori		統計物理学 Statistical Physics
助教 Assistant Professor (工学修士)	高 本 雅 裕 TAKAMOTO, Masahiro		統計物理学 Statistical Physics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	松 尾 明 洋 MATSUO, Akihiro	化 学Ⅰ ChemistryⅠ	化学 Chemistry
准教授 Associate Professor (博士(工学))	酒 井 健 SAKAI, Takeshi		固体物理学 Solid State Physics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	鮫 島 朋 子 SAMESHIMA, Tomoko	基礎物理学, 応用物理学 Fundamental Physics, Advanced Physics	非線形物理学 Non linear Physics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	竹 内 伯 夫 TAKEUCHI, Norio		プラズマ物理学 Plasma Physics
教授 Professor	河 村 豊 實 KAWAMURA, Toyomi	情報論理学, 情報処理基礎, 数学演習 Propositional Logic and First-order Logic, Computer Literacy, Exercises in Mathematics	情報工学 Computer Science
教授 Professor	塚 本 邦 重 TSUKAMOTO, Kunishige	保健体育, 体育実技 Health and Physical Education	方法学 Physical Education
教授 Professor	井 上 仁 志 INOUE, Hitoshi		方法学 Physical Education



非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
酒井 美紀 SAKAI, Miki	文学Ⅲ, Japanese LiteratureⅢ	大学非常勤講師 Part-time Instructor of University
山田 尚子 YAMADA, Naoko	日本語コミュニケーションⅠ Japanese CommunicationⅠ	大学非常勤講師 Part-time Instructor of University
濱田 伸生 HAMADA, Nobuo	応用数学Ⅱ Applied MathematicsⅡ	元有明高専教授 Former Professor of Ariake National College of Technology
山下 巖 YAMASHITA, Iwao	応用数学Ⅰ, 解析学Ⅱ Applied MathematicsⅠ, AnalysisⅡ	有明高専名誉教授 Prof. Emeritus. Ariake Kosen
水元 洋 MIZUMOTO, You	応用数学Ⅱ Applied Mathematics	(株)C・R・S講師 Lecture of C.R.S
吉田 豊 YOSHIDA, Yutaka	基礎数学Ⅰ Fundamental MathematicsⅠ	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
山崎 顕治 YAMASAKI, Kenji	化学Ⅱ ChemistryⅡ	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
大津山 佳子 OHTSUYAMA, Yoshiko	音楽 Music	元私立短期大学助教授 Former Associate Prof. of Private Junior College
武富 葉子 TAKETOMI, Youko	生物 Biology	元熊本大学准教授 Former Associate Prof. of Kumamoto University
福村 憲二 FUKUMURA, Kenji	美術 Fine Arts	県立高等学校非常勤講師 Part-time Instructor of High School
藤木 幸子 FUJIKI, Sachiko	英語Ⅰ,Ⅱ EnglishⅠ,Ⅱ	県立高等学校非常勤講師 Part-time Instructor of High School
五島 民子 GOTO, Tamiko	英語Ⅰ EnglishⅠ	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
瀬戸 洋 SETO, Hiroshi	英語Ⅱ EnglishⅡ	有明高専名誉教授 Prof. Emeritus. Ariake Kosen
仁田原 元 NITAHARA, Hajime	保健体育 Health and Physical Education	有明高専名誉教授 Prof. Emeritus. Ariake Kosen
藤田 正昭 FUJITA, Masaaki	保健体育 Health and Physical Education	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
坂口 頼孝 SAKAGUCHI, Yoritaka	日本語 Japanese	崇城大学准教授 Associate Professor, Sojo University

実験設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
物理実験室	ヤング率測定器, 表面張力測定器, 分光計, 電気回路実験器, アナログ記録計, オシロスコープ, 電位差計, 放射線測定器, 電子天秤, -85℃冷凍庫, 線膨張測定器
化学実験室	水の電解装置, 電導度計, pH計, 電子天秤, ドラフトチャンバ



▲物理学の実験
Physics Experiments



▲2年生の研修
School Trip of 2nd Year Students



機械工学科 Department of Mechanical Engineering

機械工学は近代工業のあらゆる分野におよんでいます。本学科は、設計法、材料力学、熱・流体工学、制御工学、材料学、工作法、情報処理、メカトロニクスなど広い範囲にわたり科目が修得できます。本学科では、講義と多くの演習時間によって専門知識を修得するとともに、技術を体得するために実験、実習、CAD製図などに多くの時間を設け、その指導には教員10名と技術職員5名があたっています。さらに、5年間で10数社におよぶ工場見学、特に、4年次では2週間程度の夏季学外企業実習を体験して、企業の実態を学ぶことができます。5年次では、近年の技術革新とその多様化に対応するために、システム制御工学、基礎塑性力学、生産システム工学などを選択履修できるようにしています。

また大学教授や業界の専門技術者による特別講義を開講して学生の視野を広げる教育も行っています。最後に、5年間の総仕上げとして、1～2人の学生が一組となり教員の指導のもとに卒業研究を行い、論文の作成および発表により創造力と総合的な能力を養っています。

Mechanical engineering has extended its range to the various fields in modern industries. For the mechanical engineers to make substantial contribution to various fields, the department provides students with many subjects such as mechanical design, strength of materials, thermal and fluid engineering, control engineering, materials, manufacturing process, computer programming, mechatronics, etc. The department affords the students technical knowledge by lectures and many exercises, and students spend a lot of school hours on experiments, workshop practices and mechanical drawing with CAD. For these educational objectives there are ten teaching staff and five technical officials in the department. To know the realities of the factories, there are many tours through them and practical exercises in certain factories during the summer vacation. The department has also provided some subjects such as system control engineering, basic plastic working production system engineering and so on to consider the technological innovation and its variety.

In addition, special lectures are given by professors from universities and executive technical engineers from factories. The students are expected to foster creativity and well-qualified capability through graduation research.

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

機械工学科では、豊かで便利な社会を作り、人類の夢をかなえるためにぜひとも必要となるすばらしい機械（もの）を創り出す技術者になることを目指して、いろいろなことを学びます。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 機械（もの）の仕組みや働きに興味があり、さらに勉強したいと思っている人
- 2) ものづくりが好きで、自分のアイデアでものを作ってみたいと思っている人
- 3) 人のために役に立ち、地球に優しいものづくりに関心のある人

In this department, you have an opportunity to learn a variety of subjects in order to be engineers who can design and manufacture machinery essential to make society better and more convenient, finally realizing human dreams. The students who enter this department are expected:

- 1) to be motivated in pursuing their interest in the mechanism and movement of machinery
- 2) to be interested in manufacturing products based on their own ideas
- 3) to be interested in creating useful and eco-friendly products

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 機械工学及びその関連分野において、様々な問題を論理的に分析し自分の力で解決できる能力を持った技術者の育成
- (2) 倫理観を持ち環境にやさしく人類のためになる創造的ものづくりができる能力を持った技術者の育成
- (3) 常に向上心を持ち高い目標へ挑戦できる能力を持った技術者の育成

- (1) To develop practical engineers with the ability to analyze and solve difficult problems independently in mechanical engineering and its related fields.
- (2) To develop practical engineers with a high ethical sense and the ability to create useful and environmental-friendly products.
- (3) To develop practical engineers who are motivated to make constant progress and achieve challenging goals.



教育課程（専門科目） Curriculum

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes	
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ	Basic Engineering I	1	1						
		工学基礎Ⅱ	Basic Engineering II	1	1						
		工学基礎Ⅲ	Basic Engineering III	2		2					
		情報処理基礎	Basic Computer Science	2	2						
		応用物理学Ⅰ	Applied Physics I	3			3				
		工業力学	Engineering Dynamics	2			2				
		応用数学Ⅰ	Applied Mathematics I	2				2	30H+15H/単位		
		応用数学Ⅱ	Applied Mathematics II	2				2	30H+15H/単位		
	専門基礎 Specialized Subjects	材料力学Ⅰ	Strength of Materials I	2			2				
		熱力学	Thermodynamics	2				2	30H+15H/単位		
		水力学	Hydraulics	2				2	30H+15H/単位		
		計測制御Ⅰ	Measurement and Control I	2				2	30H+15H/単位		
		メカトロニクス基礎	Basic Mechatronics	2				2	30H+15H/単位		
	総合 Composition	機械基礎製図	Mechanical Basic Design	6		3	3				
		機械基礎設計	Exercises of Basic Design	5				2	3	45H+0H/単位	
		機械基礎実習	Mechanical Shop Basic Practice	6	3	3					
		機械創造実習	Mechanical Shop Creative Practice	3			3				
機械工学実験		Experiments in Mechanical Engineering	4				2	2	45H+0H/単位		
卒業研究		Graduation Research	6					6			
小計		Subtotal	55	7	8	13	16	11			
選択 Elective Subjects	工学基礎 Basic Engineering	応用物理学Ⅱ	Applied Physics II	1				1		30H+15H/単位	
		工業英語	Technical English	2					2	30H+15H/単位	
	構造 Structure	材料学	Materials	3			1	2		30H+15H/単位	
		材料力学Ⅱ	Strength of Materials II	4				4		15H+30H/単位	
		機械振動学Ⅰ	Mechanical Vibrations I	1					1	30H+15H/単位	
		機構と要素	Mechanism and Elements	2			2				
		機械要素設計	Design of Machine Elements	2				2		30H+15H/単位	
	加工 Working	溶融加工	Melting and Fusion Processing	2					2	30H+15H/単位	
		精密加工	Precision Manufacturing	2			2				
	エネルギー Energy	伝熱工学	Heat Transfer Engineering	2					2	30H+15H/単位	
		流体工学	Fluid Engineering	2					2	30H+15H/単位	
	制御 Control	コンピューター工学	Computer Engineering	1				1		30H+15H/単位	
		数値計算法	Numerical Computation	1					1	30H+15H/単位	
		電気電子工学	Electrical-Electronics Engineering	2				2		30H+15H/単位	
		計測制御Ⅱ	Measurement and Control II	1					1	30H+15H/単位	
		メカトロニクス応用	Applied Mechatronics	2					2	30H+15H/単位	
	小計		Subtotal	30	0	0	5	12	13		
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	機械選択 Mechanical Engineering	流体機械	Fluid Machinery	2					2	この中から 3科目選択 15H+30H/単位
			システム制御工学	Systems and Control Engineering	2					2	
			機械振動学Ⅱ	Mechanical Vibrations II	2					2	
基礎塑性力学			Basic Mechanics of Plasticity	2					2		
熱機関工学			Heat Engine Engineering	2					2		
生産システム工学			Production System Engineering	2					2		
小計		Subtotal	12	0	0	0	0	12			
開設単位数 Total of Credits Offered				97	7	8	18	28	36	授業外科目を除く	
修得可能単位数 Earnable Credit				91	7	8	18	28	30		
授業外科目		学外実習	Extramural Practice	1(2)					1(2)		
		課題研究	Exercises on Engineering	1				1			
		特別講義	Special Lecture	1					1		
		小計		Subtotal	3(4)						

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (工学博士)	川 寄 義 則 KAWASAKI, Yoshinori	計測制御Ⅱ，システム制御工学 Measurement and Control II, Systems and Control Engineering	制御工学 Control Engineering
教授 Professor (技術士(機械部門))	堀 田 源 治 HOTTA, Genji	機械要素設計、機械基礎設計 Design of Machine Elements, Mechanical Basic Design	設計工学 Design Engineering
教授 Professor (博士(工学))	吉 田 正 道 YOSHIDA, Masamichi	熱力学，伝熱工学 Thermodynamics, Heat Transfer Engineering	伝熱工学 Heat Transfer Engineering
教授 Professor (博士(工学))	南 明 宏 MINAMI, Akihiro	材料学，基礎塑性力学 Materials, Basic Mechanics of Plasticity	塑性加工 Plastic Working
教授 Professor (博士(工学))	明 石 剛 二 AKASHI, Koji	精密加工，機械基礎設計 Precision Manufacturing, Mechanical Basic Design	精密加工 Precision Manufacturing
准教授 Associate Professor (工学修士)	原 慎 真 也 HARAMAKI, Shinya	メカトロニクス基礎・応用，工業力学 Basic Mechatronics, Applied Mechatronics, Engineering Mechanics	制御工学 Control Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	柳 原 聖 YANAGIHARA Kiyoshi	計測制御Ⅰ，数値計算法 Measurement and Control I, Numerical Computation	計測工学 Measurement Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	坪 根 弘 明 TSUBONE, Hiroaki	水力学，流体工学 Hydraulics, Fluid Engineering	流体工学 Fluid Engineering
講 師 Lecturer (博士(工学))	岩 本 達 也 IWAMOTO, Tatsuya	材料力学Ⅱ，工学基礎Ⅲ Strength of Materials II, Basic Engineering III	材料力学 Strength of Materials
助 教 Assistant Professor (博士(工学))	篠 崎 烈 SHINOZAKI, Akira	工学基礎Ⅲ，機械基礎製図 Basic Engineering III, Mechanical Basic Design and Drawing	精密加工 Precision Manufacturing

非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
大 山 司 朗 OHYAMA, Shiro	材料力学Ⅰ，機械振動学Ⅰ・Ⅱ Strength of Materials I, Mechanical Vibration I・II	有明高専名誉教授 Prof. Emeritus, Ariake National College of Technology

卒業生の主な就職先（最近５年間） List of Principal Employment

出光興産，川崎重工業，キヤノン，九州グリコ，新日本石油化学，ソニーEMCS，第一精工，ダイキン工業，ダイハツ工業，デンソーテクノ，東芝エレベータ，東陶機器，東レ，凸版印刷，ニコン，日産テクノ，日本ビソー，パナソニックコミュニケーションズ，日立造船メカニカル，日立ハイテクノロジーズ，富士重工業，ブラザー工業，マツダ，マキノジェイ，三井金属鉱業，三井ハイテック，三菱化学エンジニアリング，三菱重工業，三菱電機ビルテクノサービス，ヤマハモーターエンジニアリング

※平成20年度卒業生の就職先は p57，進学先は p56.

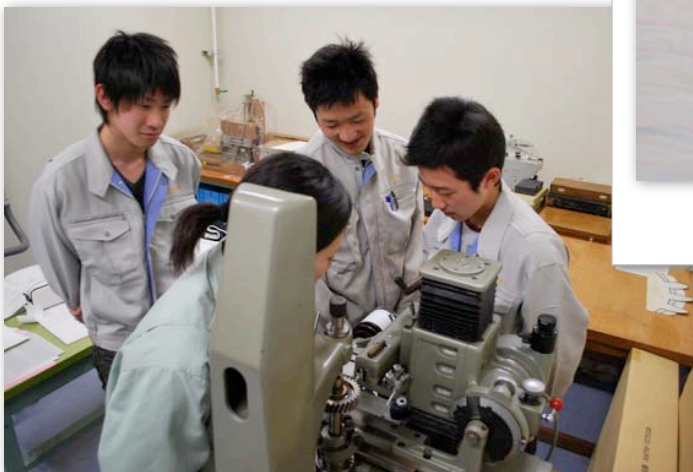


主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
精密測定実験室 (恒温室)	万能測長器, 表面形状測定器, 真円度測定器, 歯車試験機, 精密石定盤, 工具顕微鏡, 電気マイクロメータ, 空気マイクロメータ, 精密定盤, 万能投影機, ダイアルゲージ検定機, オートコロメータ, 表面粗さ計
材料実験室	走査電子顕微鏡 (X線分析装置付属), 万能塑性加工機, 万能試験機, 電解研磨装置, 各種硬度試験機, 熱処理用電気炉, 光学顕微鏡
材料強度実験室	PSPC 微小部 X 線応力測定装置, 電動油圧式疲労試験機
熱工学実験室	内燃機関性能総合試験装置, 自動蒸留水製造装置
流体実験室	送風機性能試験装置, 水車実験装置, 圧力計検定装置, ポンプ実験装置, オリフィス検定装置, 高速度ビデオカメラ
機械力学制御 工学実験室	振動試験機, 動釣合試験機, 油圧サーボ実験装置, マイクロロボットシステム, 倒立振り実験装置, マイクロコンピュータ, 自動計測制御解析システム, 3D-CAD
機械工作実験室	横形マシニングセンタ, 高速旋盤, 切削抵抗測定装置, ドリル切削抵抗測定装置

実習工場 Workshop

室名	主な設備
機械工作室	CNC旋盤, NCワイヤー放電加工機, 普通旋盤, 万能フライス盤, NCフライス盤, 立てフライス盤, プラノミラー, 万能円筒研削盤, 平面研削盤, 工具研削盤, 直立ボール盤, ホブ盤, 歯車形削盤, 放電加工機
鑄造・塑性加工室	モールドینگマシン, 重油炉, 20t油圧プレス
溶接室	溶接ロボット, 交流アーク溶接機, TIG溶接機, スポット溶接機, ガス溶接機, 電動切断機, 半自動溶接機, エアープラズマ切断機



▲歯車の精度測定
Precision measurement of gears



▲粘度の測定
Measurement of viscosity of a liquid



電気工学科 Department of Electrical Engineering

近年の情報化社会の進展からも、また、エネルギー分野においても電気工学は技術革新の先導的役割を担っているのと同時に、より豊かな社会をつくる技術的な意味での原動力になっています。それゆえに本学科の学生が電子工学、情報工学、制御工学、電力システム工学のような基本技術を修得できるように配慮しています。さらに、電気電子工学実験や卒業研究を通してこれらの理論や現象に対する理解を深めることができます。このように本学科は技術分野の革新に耐えうる電気技術者の育成に努めています。

As we can see from the progress of the recent information-oriented society, electrical engineering is now taking the lead in the technological innovation. Its leading role is also prominent in the field of energy. Electrical engineering has turned out to be a technological driving force to create a more affluent society. The students in the department, therefore, are to study such basic subjects as electronic engineering, computers, control and power system engineering. The department helps the students to deepen the understanding of theories and phenomena in electrical engineering through laboratory experiments and graduation research. The curriculum is organized to train the students into the electrical engineers who are capable of satisfying the requirements for the innovation in technology.

アドミッションポリシー（求める学生像） Admission Policy

電気工学科では、文明社会を支えているさまざまな科学技術に不可欠なエネルギー・電子・情報の三つの分野を中心に、電気に関することがらを学びます。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 電気・電子やコンピュータに関心がある人
- 2) 電子工作や電気実験に興味がある人
- 3) 地球の環境問題やエネルギー問題に関心がある人

In this department, you have an opportunity to learn a various subjects concerning electricity, focusing on the three fields of energy, electronics and information, essential for technology which supports this civilized society. The students who enter this department are expected:

- 1) to be interested in electricity, electronics and computer
- 2) to be interested in electronics handicrafts and electrical experiments
- 3) to be interested in environmental problems and energy issues

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 基礎学力に育まれた豊かな創造性と電気電子工学から情報工学までの幅広い専門知識により、新しい技術や課題に柔軟に対応できる能力を有する人材の育成
- (2) エネルギー問題や環境問題など現代社会の抱えるさまざまな課題に対して、これらを正しく評価できる分析能力と問題解決能力を有する人材の育成
- (3) 人間社会における技術のあり方を深く理解し、環境にやさしい電気電子情報技術を積極的に開拓するという向上心と倫理観を有する人材の育成

- (1) To develop persons who are able to creatively handle new technology and solve problems with both basic knowledge and technical knowledge from electrical to information engineering.
- (2) To develop persons who are able to correctly analyze and solve various issues in the present world, such as energy problems and environmental problems.
- (3) To develop persons who deeply understand the roles technology plays in society, and have aspiration and ethics to invent eco-friendly electrical and electronic technology.



教育課程（専門科目） Curriculum

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes
				1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th	
必修 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1					
		工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1					
		工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	2		2				
		情報処理基礎 Basic Computer Science	2	2					
		応用物理学Ⅰ Applied Physics I	3			3			
		応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2				2		30H+15H/単位
	電気工学基礎 Basic Electrical Engineering	応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	2				2		30H+15H/単位
		電気基礎 Electric Fundamentals	1	1					
		電気製図 Electrical Drawing	1	1					
		電気磁気学 Electromagnetics	5		1	2	2		15H+30H/単位
		電気回路 Electric Circuits	7		1	2	4		15H+30H/単位
		電気電子計測 Electrical and Electronic Measurements	3			2	1		30H+15H/単位
		制御工学 Control Engineering	2				2		30H+15H/単位
		電気電子基礎演習 Exercises in Electrical Engineering and Electronics	1	1					
		電気電子工学演習 Exercises in Electrical Engineering and Electronics	1				1		30H+15H/単位
		電気電子工学実験 Experiments in Electrical Engineering and Electronics	12		3	3	4	2	45H+0H/単位
	電力工学系 Electric Power Engineering	電気機器 Electric Machinery	4			2	2		30H+15H/単位
		電子工学系 Electronic Engineering	電子デバイスⅠ Electronic Devices I	2			2		
	電子工学系 Electronic Engineering	電子回路Ⅰ Electronic Circuits I	2				2		30H+15H/単位
		情報工学系 Computer Engineering	情報処理 Computer Science	5		1	2	2	
	卒業研究 Graduation Research		6					6	
	小計 Subtotal		65	7	8	18	24	8	
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学複合・総合 Interdisciplinary Subjects	応用物理学Ⅱ Applied Physics II	1			1		30H+15H/単位
		システム制御 System Control	2				2		30H+15H/単位
		機械工学概論 Introduction to Mechanical Engineering	2				2		30H+15H/単位
		電力工学系 Electric Power Engineering	高電圧工学 High Voltage Engineering	1				1	30H+15H/単位
		パワーエレクトロニクス Power Electronics	1				1	30H+15H/単位	
		電力輸送工学 Electric Power Transmission Engineering	2				2	30H+15H/単位	
		電力発生工学 Electrical Power Generation Engineering	2				2	30H+15H/単位	
		電子工学系 Electric Engineering	電子デバイスⅡ Electronic Devices II	1			1		30H+15H/単位
		電子回路Ⅱ Electronic Circuits II	2				2		30H+15H/単位
		電子物性 Electronic Materials	2				2		30H+15H/単位
		情報通信工学系 Computer and Communication Engineering	通信工学Ⅰ Communication Engineering I	2				2	30H+15H/単位
		計算機工学 Computer Engineering	2				2		15H+30H/単位
		論理回路 Logic Circuits	1				1		30H+15H/単位
		小計 Subtotal		21	0	0	0	5	16
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	電力工学系 Electric Power Engineering	電気材料 Electrical Materials	1				1	30H+15H/単位
			電気法規 Laws and Regulations on Electrical Facilities	1				1	30H+15H/単位
			電気応用 Applied Electrical Engineering	1				1	30H+15H/単位
			電気設計 Electric Machine Design	2				2	30H+15H/単位
		電子情報工学系 Electronic and Computer Engineering	計算機工学特論 Advanced Computer Engineering	1				1	30H+15H/単位
			電子工学特論 Advanced Electronic Engineering	1				1	30H+15H/単位
			通信工学Ⅱ Communication Engineering II	1				1	30H+15H/単位
			電子設計 Electronic Circuit Design	2				2	30H+15H/単位
小計 Subtotal		10	0	0	0	0	10		
開設単位数 Total of Credits Offered		96	7	8	18	29	34	授業外科目を除く	
修得可能単位数 Earnable Credit		91	7	8	18	29	29		
授業外科目			学外実習 Extramural Practice	1(2)			1(2)		
			課題研究 Exercises on Engineering	1			1		
			特別講義 Special Lecture	1			1		
			小計 Subtotal	3(4)					

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (工学博士)	出来 恭一 DEKI, Kyouichi	電気回路, 電子回路Ⅱ Electric Circuits, Electronic Circuits II	レーザー工学 Laser Engineering
教授 Professor (博士(工学))	永守 知見 NAGAMORI, Tomomi	電気磁気学, 電気機器 Electromagnetics, Electric Machinery	電気材料 Electrical Materials
教授 Professor (博士(工学))	塚本 俊介 TSUKAMOTO, Shunsuke	電気回路, 電力輸送工学 Electric Circuits, Electric Power Transmission Engineering	高電圧工学 High Voltage Engineering
教授 Professor (博士(工学))	泉 勝弘 IZUMI, Katsuhiro	電気磁気学, システム制御 Electromagnetics, System Control	パワーエレクトロニクス Power Electronics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	石丸 智士 ISHIMARU, Satoshi	電子物性, 電子デバイス Solid-State Physics, Electronic devices	半導体物性, 光電気化学 Semiconductor Physics, Photo-electrochemistry
准教授 Associate Professor (博士(工学))	河野 晋 KONO, Susumu	高電圧工学, 電気電子工学実験 High Voltage Engineering, Experiments in Electrical and Electronic Engineering	パルスパワー Pulsed Power
准教授 Associate Professor (博士(情報工学))	尋木 信一 TAZUNEMI, Shinichi	情報処理, 計算機工学 Computer Science, Computer Engineering	ソフトウェア工学, 教育システム情報 Software Engineering, Information and Systems in Education
准教授 Associate Professor (博士(工学))	高松 竜二 TAKAMATSU, Ryuji	電子設計, 電気電子工学実験 Electronic Circuit Design, Experiments in Electrical and Electronic Engineering	電子材料, センサ工学 Electronic Materials, Sensor Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	池之上 正人 IKENOUE, Masato	制御工学, 電気電子工学実験 Control Engineering, Experiments in Electrical and Electronic Engineering	制御工学 Control Engineering
助教 Assistant Professor (博士(工学))	森山 賀文 MORIYAMA, Yoshifumi	情報処理, 電気電子工学実験 Computer Science, Experiments in Electrical and Electronic Engineering	ソフトウェア工学 Software Engineering

非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
西岡 聡 NISHIOKA, Satoshi	電力発生工学 Electric Power Generation Engineering	九州電力(株) Kyushu Electric Power Co., INC.
小路 和彦 SHOJI, Kazuhiko	電気法規 Laws and Regulations on Electrical Facilities	小路設備設計事務所 Shoji Facilities Designing Office
大許 賢一 OOMOTO, Kenichi	通信工学Ⅱ Communication Engineering II	(株)NTT西日本ー九州 NTT West Kyushu Corporation
小澤 賢治 OZAWA, Kenji	通信工学Ⅰ Communication Engineering I	元有明高専教授 Former Professor of Ariake National College of Technology

卒業生の主な就職先（最近５年間） List of Principal Employment

出光興産, NTT ファシリティーズ, 関西電力, キヤノン, 九州電力, 九州旅客鉄道, 京セラ, サントリー, JAL 航空機整備東京, ソニー, ソニーセミコンダクタ九州, ディスコ, 東海旅客鉄道, 東京エレクトロン九州, 東陶機器, 凸版印刷, トヨタ自動車, 西日本電信電話, 西日本旅客鉄道, 日本放送協会, パナソニックコミュニケーションズ, 半導体エネルギー研究所, 富士ソフト, 富士通九州システムエンジニアリング, 本田技研工業, マツダ, 三菱化学エンジニアリング, 三菱重工業, 三菱電機ビルテクノサービス, 安川電機

※平成 20 年度卒業生の就職先は p57, 進学先は p56.



主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
電子基礎実験室	直流電位差計, キャパシタンスブリッジ, 万能ブリッジ, 磁力計, 磁束計, 電圧計, 電流計, 精密級抵抗器, エレクトロニクス検流計, 標準信号発生器, 低周波発振器, パルスジェネレータ, ファンクションジェネレータ, デジタルマルチメータ, オシロスコープ, インピーダンスアナライザ, 周波数カウンタ, 電子電圧計, 定電圧電源, カーブトレーサ, ひずみ率計, 利得位相計, マイクロ波実験装置, 電界強度測定装置, 騒音計, パーソナルコンピュータ
電子応用実験室	電圧計, 電流計, ファンクションジェネレータ, オシロスコープ, 周波数カウンタ, 電子電圧計, 定電圧電源, ワイドスイープジェネレータ, パーソナルコンピュータ
電気機械実験室	各種直流電動機・発電機, 三相同期発電機, 三相誘導電動機, 直流電気動力計, 渦流制動型動力計, サイリスタ式直流電流, PWM インバータ
電力工学実験室	各種継電器, 各種単相変圧器, 各種三相変圧器, 総合負荷装置
高電圧実験室	高電圧パルスパワー実験装置, 試験用変圧器, 衝撃電圧発生器, デジタルオシロスコープ, シールドルーム
光工学実験室	ベンチ光度計, ウルブリヒト球形光束計, 照度計, 各種照明器具
制御実験室	倒立振り子, 制御実験シミュレータ, メモリハイコーダ, デジタルオシロスコープ
電気情報処理演習室	パーソナルコンピュータ (49台), サーバ (2台), レーザプリンタ (2台), 液晶プロジェクタ, 各種 LAN 機器
電気物性実験室	半導体レーザ用電源, 循環冷却水器, 光学実験用防振台, 半導体レーザ



▲制御実験

Experiments in Control Engineering



▲高電圧実験

Experiments in High Voltage Engineering



▲電子回路実験

Experiments in Electronic Circuit



▲アンテナ指向性実験

Experiments in Electromagnetic Wave Engineering



電子情報工学科 Department of Electronics and Information Engineering

科学技術の発展は、たくさんの人々が互いに物や情報を交換しあって快適な生活を営むことができるような社会の存在を可能としました。特に電子工学や情報工学の発達が目覚ましく、これらの技術は人々にたくさんの素晴らしい可能性を示し続けています。しかし、社会が高度化し複雑化するにつれて様々な技術的問題や社会的問題が生じています。したがって現在では、例えば次のようなシステムの開発が重要になってきています。それらは、効率的で安全性の高い信号変換や信号伝達を行うプロセッシングシステム、論理演算や数値シミュレーションを高速に行うコンピューティングシステム、環境の計測などを行うセンシングシステム、あるいはまた、人間と機械とのコミュニケーションを円滑に行うためのインタフェースシステムなどです。これらを実現するための技術の基礎はもちろん電子工学と情報工学にあります。

電子情報工学科における専門科目の教育課程は、工学基礎、電子情報基礎、電子工学系、情報工学系、総合領域の5つの領域で構成されています。それぞれの領域において本学科の学生は、基礎から最新技術に関する応用までをバランス良く学ぶことができます。本学科では、電子情報工学を幅広い視野から存分に活用して、様々な種類の問題を解決することができる創造的な技術者の育成を目指しています。

Progress in science and technology have made possible that there exists a society in which many people can live comfortably by exchanging materials and information. Especially, electronics and information engineering have been showing people a lot of kinds of wonderful possibilities. However, there arise various technical and social problems because our society has been increasing its sophistication and complexity. Therefore, at present, it will be very important for us to develop followings such as processors for converting and transmitting signals with high efficiency and high-level security, computational systems for high-speed logical calculations and numerical simulations, sensor systems for monitoring environment, interface systems for person-machine communication, and so on. Technologies for realizing these kinds of systems are certainly based on electronics and information engineering.

In the department of Electronics and Information Engineering, the curriculum consists of five areas: Basics of Engineering, Fundamentals of Electronics and Information Engineering, Electronics, Information Engineering, and Interdisciplinary Subjects. Students in the department can learn subjects from fundamentals to applications concerning up-to-date technologies in each area. The aim of the department is to provide creative engineers who have an ability to bring excellent solutions for various kinds of problems by using knowledges and techniques of electronics and information engineering with their global view.

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

電子情報工学科では、入学した皆さんは電子工学から情報工学に関連する広い分野の内容を学び、総合的な知識を身につけたコンピュータ応用技術者になることを目指します。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 「もの」をつくるのが好きな人
- 2) 物事を順序だてて考えるのが好きな人
- 3) 生きた知識を身につけていく努力ができる人

In this department, you have an opportunity to learn subjects concerning diverse fields from electronic engineering to information engineering in order to be experts with profound and comprehensive knowledge of applied computer engineering. The students who enter this department are expected:

- 1) to be interested in product manufacturing
- 2) to be interested in thinking methodically and systematically
- 3) to be willing to make efforts to acquire real-world knowledge

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 社会を支える情報通信技術を維持・発展させるための電子工学・情報工学の専門知識を総合的に身につけた人材の育成
- (2) 電子工学・情報工学分野における多様な課題に対する分析能力と問題解決能力を有する人材の育成
- (3) 豊かな創造力と技術者としての高い倫理観を有する人材の育成

- (1) To develop persons who have comprehensive technical knowledge in electronics and information engineering necessary to maintain and develop information communication technology.
- (2) To develop persons who have analytical and problem-solving ability to tackle diverse issues in the areas of electronics and information engineering.
- (3) To develop persons who are equipped with creativity and an ethical sense essential for engineers.



教育課程（専門科目） Curriculum

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes	
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1							
		工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1							
		工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	2		2						
		情報処理基礎 Computer Literacy	2	2							
		応用物理学 Applied Physics	3			3					
		応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2				2	30H+15H/単位			
	電子情報基礎 Fundamentals of Electronic and Information Engineering	応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	2				2	30H+15H/単位			
		電子工学基礎Ⅰ Fundamentals Electronic I	2	2							
		電子工学基礎Ⅱ Fundamentals Electronic II	1		1						
		プログラミングⅠ Programming I	1		1						
		プログラミングⅡ Programming II	1			1					
		電子情報工学演習 Electronic and Information Engineering Exercises	1	1							
	電子工学系 Electronics	論理回路 Logic Circuits	2			2					
		電磁気学Ⅰ Electromagnetics I	2				2	30H+15H/単位			
		電気回路Ⅰ Electric Circuits I	2			2					
		電子回路Ⅰ Electronic Circuits I	4				4	15H+30H/単位			
		電子回路Ⅱ Electronic Circuits II	2					2	30H+15H/単位		
		電子工学演習 Electronics Exercises	2		2						
		電子工学実験Ⅰ Electronics Experiment I	3			3					
		電子工学実験Ⅱ Electronics Experiment II	2				2	45H+0H/単位			
		電子工学実験Ⅲ Electronics Experiment III	2					2	45H+0H/単位		
	情報工学系 Information Engineering	情報論理学 Propositional Logic and First-order Logic	2			2					
		情報理論 Information Theory	2				2	30H+15H/単位			
		アルゴリズム Algorithms and Data Structures	2				2	30H+15H/単位			
		情報工学演習Ⅰ Information Engineering Exercises I	2		2						
		情報工学演習Ⅱ Information Engineering Exercises II	2			2					
情報工学演習Ⅲ Information Engineering Exercises III		2				2	30H+15H/単位				
総合領域 Interdisciplinary Subjects	計算機工学 Computer Engineering	2				2	30H+15H/単位				
	卒業研究 Graduation Research	8					8				
	小計 Subtotal	62	7	8	15	20	12				
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	電子工学系 Electronics	電磁気学Ⅱ Electromagnetics II	2				2	30H+15H/単位		
			電気回路Ⅱ Electric Circuits II	2				2	30H+15H/単位		
			電気電子計測 Electric and Electronic Measurements	2			2				
			半導体工学 Semiconductor Devices	2				2	30H+15H/単位		
			電子製図 Drawing for Electronics	1					1	30H+15H/単位	
		情報工学系 Information Engineering	システムプログラム Operating System	1			1		30H+15H/単位		
			言語処理系 Language Translation Systems	2					2	30H+15H/単位	
			数値計算法 Numerical Computation	2				2	30H+15H/単位		
			情報ネットワーク Information Network	2					2	30H+15H/単位	
			ソフトウェア工学 Software Engineering	2					2	30H+15H/単位	
	総合領域 Interdisciplinary Subjects	ディジタルデータ処理 Digital Data Processing	2					2	30H+15H/単位		
		情報処理システム Information Processing Systems	1			1					
		通信工学 Communication Engineering	2						2	30H+15H/単位	
		制御工学Ⅰ Control Engineering I	2				2		30H+15H/単位		
		小計 Subtotal	25	0	0	3	9	13			
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	電子工学系 Electronics	光エレクトロニクス Optoelectronics	2					2	このうちから 1科目選択 30H+15H/単位	
			情報工学系 Information Engineering	人工知能 Artificial Intelligence	2						2
		情報工学系 Information Engineering	データベース Introduction to Database Systems	2						2	このうちから 1科目選択 30H+15H/単位
			総合領域 Interdisciplinary Subjects	制御工学Ⅱ Control Engineering II	2					2	
		小計 Subtotal	8	0	0	0	0	8			
開設単位数 Total of Credits Offered			95	7	8	18	29	33	授業外科目を除く		
修得可能単位数 Earnable Credit			91	7	8	18	29	29			
授業外科目	学外実習 Extramural Practice	1(2)					1(2)				
	課題研究 Exercises on Engineering	1				1					
	特別講義 Special Lecture	1					1				
	小計 Subtotal	3(4)									

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (理学博士)	中 村 俊三郎 NAKAMURA, Shunzaburo	論理回路, 半導体工学 Logic Circuits, Semiconductor Devices	半導体工学 Semiconductor Engineering
教授 Professor (理学博士)	内 海 通 弘 UCHIUMI, Michihiro	デジタルデータ処理, 数値計算法 Digital Data Processing, Numerical Computation	信号処理工学 Signal Processing Engineering
特任教授 Research Professor (工学博士)	活 田 健 治 IKUTA, Kenji	電気回路Ⅱ, 通信工学 Electric Circuits II, Communication Engineering	電子計測 Electronic Measurement
准教授 Associate Professor (博士(学術))	森 紳太朗 MORI, Shintaro	光エレクトロニクス, 情報理論 Optoelectronics, Information Theory	光導波路 Optical Waveguide
准教授 Associate Professor (博士(工学))	松 野 哲 也 MATSUNO, Tetsuya	電磁気学, システム情報モデル Electromagnetics, Modeling for Information Processes	生物情報工学 Bioinformatics
准教授 Associate Professor (修士(工学))	松 野 良 信 MATSUNO, Yoshinobu	プログラミング, システムプログラム Programming, Operating System	情報ネットワーク Information Network Engineering
准教授 Associate Professor (博士(情報工学))	嘉 藤 学 KATO, Manabu	アルゴリズム, 情報ネットワーク Introduction to Algorithms and Data Structures, Information Networks	情報通信工学 Information Network Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	嘉 藤 直 子 KATO, Naoko	ソフトウェア工学, 情報処理基礎 Software Engineering, Computer Literacy	ソフトウェア工学 Software Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	原 武 嗣 HARA, Takeshi	電気回路, 電子工学基礎 Electric Circuits, Electronic Fundamentals	電子材料工学 Electronic Materials Engineering
講 師 Lecturer (博士(工学))	石 川 洋 平 ISHIKAWA, Yohei	電気電子計測, 電子回路 Electrical and Electronic Measurements, Electronic Circuits	電子回路 Electronic Circuits

非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
向 井 正 和 MUKAI, Masakazu	制御工学Ⅱ Advanced Control Engineering II	九州大学大学院 助教 Assistant Professor, Graduate School, Kyushu University
岡 崎 泰 久 OKAZAKI, Yasuhisa	人工知能 Artificial Intelligence	佐賀大学 准教授 Associate Professor, Saga University

卒業生の主な就職先（最近5年間） List of Principal Employment

NEC ネットエスアイ・エンジニアリング, NEC フィールドエンジニアリング, NTT コムウェア, NTT 西日本, オムロンリレーアンドデバイス, キヤノンシステムアンドサポート, 九州テン, 九州旅客鉄道, サイバーコム, 西肥情報サービス, 信号電材, スズキ, スタンレー電気, セガ, ソニーEMCS 木更津テック, ソニーセミコンダクタ九州, 大日本印刷, 中外製薬工業, 翼システム, デンソーテクノ, 東海旅客鉄道, トヨタプロダクションエンジニアリング, 日産自動車, 日本たばこ産業, BPA, 富士通九州システムエンジニアリング, マツダ, 三浦工業, リコー, リコーテクノシステムズ

※平成20年度卒業生の就職先は p57, 進学先は p56.

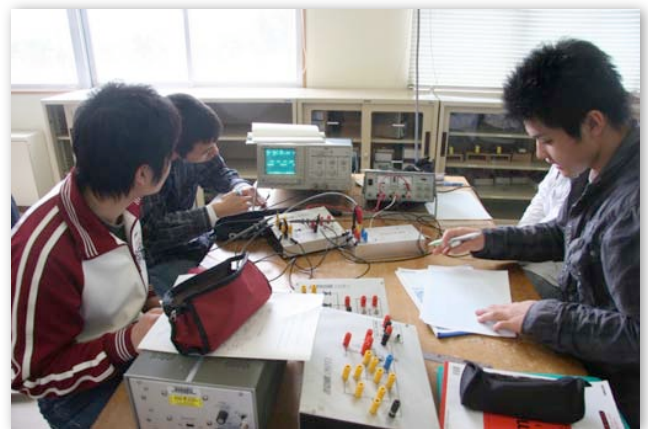


主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
情報工学演習室	パーソナルコンピュータ（50台）、レーザプリンタ（1台）、視聴覚教育装置
電子計算機室	LSI設計CAD、回路シミュレータ、ファンクションジェネレータ、デジタルオシロスコープ
プログラミング室	X 端末（23台）、レーザプリンタ（1台）
電子工学実験室	ファンクションジェネレータ、パルスジェネレータ、電子電圧計、デジタルマルチメータ、指示計器（直流/交流、電圧/電流/電力）、オシロスコープ、ロジックアナライザ、万能ブリッジ、磁束計、オプティカルパワーメータ、各種直流電源、スライド抵抗、スライダック、半導体実習装置、論理回路実習装置、パルス回路実験装置、リレー回路実験装置、プログラマブルコントローラ実験装置、光通信実験装置、オペアンプ回路実験装置、マイクロコンピュータ実験装置、FPGA実験装置
電子情報設計製作実験室	デスクドリル、板金折り曲げ機、シャーシパンチ、ベンチバイス、ノギス、電動ドリル、振動ドリル、電動カンナ、マイクロメータ、ソルダークリーナ、ケーブルカッタ、ワイヤストリップ、バンドソー、精密卓上旋盤、プリント基板加工装置
電子情報基礎実験室	パーソナルコンピュータ、サーバ
電子情報応用実験室	電子材料薄膜作製用真空チャンバー、アークプラズマガン、基板温度加熱機構、ターボ分子ポンプ、ロータリーポンプ、キャパシタンスノメータ、電離真空計、超音波洗浄機、デシケータ、燃料電池学習教材、パーソナルコンピュータ
情報伝送実験室	ワークステーション、スペクトラムアナライザ、レーザプリンタ、マイクロ波パワーメータ、回路シミュレータ、マイクロ波回路シミュレータ、マイクロ波回路デザイナー、ボードレイアウト、ネットワークシミュレータ、デジタルオシロスコープ、高感度エレクトロメータ、プログラマブル電源、照度/騒音計、周波数カウンタ、FPGA開発プラットフォーム、任意波形発生器、LCRメータ、高分解能デジタルマルチメータ、マニュアルプローバ
半導体デバイス実験室（クリーンルーム）	スパッタリング装置、マスクアライナ、スピニングコート、超純水製造装置、オーブン、マイクロ天秤、クリーンベンチ、ドラフトチャンバ
電子物性実験室	パーソナルコンピュータ
応用物性実験室	ドラフトチャンバ
電子工学精密実験室	He-Neガスレーザ、色素レーザ、デジタルスチルカメラ、YAGレーザ、ナノスパーク、デジタルオシロスコープ



▲情報工学演習
Computer Practice



▲電子情報工学実験
Electronics Experiment



物質工学科 Department of Chemical Science and Engineering

最近の化学技術の進歩は、マテリアルサイエンスとバイオテクノロジーの分野を除いては考えられません。化学におけるこれらの分野の拡大と技術の革新に対応するために、本校では平成6年度に工業化学科を物質工学科に改組しました。

物質工学科では、美しい環境を守りながら、地球の資源やエネルギーを活用して人間の生活に有用な製品をつくり、今後の情報、文化、生命、健康の基盤となる新しい材料、医薬などを開発、製造する技術者の養成を目指します。

そのため、1学年から3学年までは化学と生物に関する基礎科目を履修し、4学年からは「物質コース」と「生物コース」のいずれかのコースを選択し、それぞれの専門科目を履修するとともに両コースに関連した共通専門科目を履修できるようになっています。

The latest remarkable progress in chemical technology would not have been achieved without development in the fields of material science and biotechnology. In order to correspond to these new enlarged branches of chemistry and the innovation in chemical technology, we have renamed our department the Department of Chemical Science and Engineering and changed part of the curriculum.

The aim of the new department is to bring up engineers who will produce commodities really useful for human life. The engineers develop and manufacture new materials, medicines and other products which will assist in the further development of the future information technology, biotechnology, health, and culture of the people by utilizing natural resources. They also serve society in improving the environment by reducing and eliminating pollution.

In order to accomplish these objectives, basic subjects concerning chemistry and biology are taught from the first to the third year. In the fourth and fifth year, students can choose either “material engineering course” or “biological engineering course” and take other elective subjects as well as their own major ones.

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

物質工学科では、美しい環境を守りながら、地球の資源やエネルギーを活用して人の生活に有用な製品をつくる実践的技術者になるための学習をします。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 数学や理科への勉学の意欲が高く、実験が好きな人
- 2) さまざまなことがらに科学的な興味をもつことができる人
- 3) 学習目標を達成する強い意志を有している人

In this department, you have an opportunity to learn subjects necessary to be practical engineers who create products useful for human life and also friendly to the environment, utilizing natural resources and energy on the earth. The students who enter this department are expected:

- 1) to be motivated to study mathematics and science, and interested in experimental studies
- 2) to be able to take a scientific interest in a variety of matters
- 3) to be determined to achieve academic goals

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 化学、生物に関する基礎的・専門的知識の習得により、新しい技術と課題に対応できる能力をもつ技術者の育成
- (2) 様々な問題を論理的に解析し、その問題を解決できる能力を持つ技術者の育成
- (3) 現場での実践的コミュニケーション能力を持つ技術者の育成

- (1) To develop engineers with the ability to deal with new technology and issues by acquiring basic knowledge and expertise in chemistry and biology.
- (2) To develop engineers with the ability to logically analyze and solve diverse issues.
- (3) To develop engineers equipped with practical communication ability at work.



教育課程（専門科目） Curriculum

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes				
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th					
必修 Required Subjects	共通 Common	工学基礎 Basic Subjects	工学基礎Ⅰ	Basic Engineering I	1	1								
			工学基礎Ⅱ	Basic Engineering II	1	1								
			工学基礎Ⅲ	Basic Engineering III	2		2							
			情報処理基礎	Basic Computer Science	2	2								
			応用物理学Ⅰ	Applied Physics I	3			3						
			応用数学Ⅰ	Applied Mathematics I	2				2		30H+15H/単位			
		専門基礎 Specialized Subjects	応用数学Ⅱ	Applied Mathematics II	2				2		30H+15H/単位			
			設計製図	Design and Drawing	2	2								
			分析化学	Analytical Chemistry	2		2							
			無機化学	Inorganic Chemistry	3			3						
			有機化学Ⅰ	Organic Chemistry I	2			2						
			有機化学Ⅱ	Organic Chemistry II	2				2		30H+15H/単位			
			物理化学Ⅰ	Physical Chemistry I	2			2			30H+15H/単位			
			物理化学Ⅱ	Physical Chemistry II	4				4		15H+30H/単位			
	物理化学Ⅲ		Physical Chemistry III	1					1	30H+15H/単位				
	生物化学		Biological Chemistry	2			2							
	化学工学Ⅰ		Chemical Engineering I	2				2		30H+15H/単位				
	化学工学Ⅱ		Chemical Engineering II	2					2	15H+30H/単位				
	専門基礎 実験 Basic Experiments		分析化学実験	Experiments in Analytical Chemistry	2		2							
			無機化学実験	Experiments in Inorganic Chemistry	2			2						
		有機化学実験	Experiments in Organic Chemistry	2			2							
		物理化学実験	Experiments in Physical Chemistry	1				1		45H+0H/単位				
		機器分析実験	Experiments in Instrumental Analysis	1				1		45H+0H/単位				
		反応工学実験	Experiments in Chemical Reaction Engineering	1				1		45H+0H/単位 物質コース ・生物コースの いずれかを選択				
	物質コース Materials Engineering Course	実験 Experiments	物質工学実験	Experiments in Materials Engineering	2			1	1					
			生物コース Biological Engineering Course	実験 Experiments	生物反応工学実験	Experiments in Bioreaction Engineering	1				1			
	生物工学実験	Experiments in Biological Engineering			2			1	1					
	卒業研究				Graduation Research	12				3	9			
	小計				Subtotal	62	6	6	16	21	13			
	選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学基礎 Basic Subjects	情報処理	Computer Literacy	2		1			1	30H+15H/単位		
				工業英語	Technical English	2		1			1	30H+15H/単位		
応用物理学Ⅱ				Applied Physics II	1				1		30H+15H/単位			
電気工学基礎				Basic Electrical Engineering	2					2	30H+15H/単位			
機械工学基礎				Basic Mechanical Engineering	2					2	30H+15H/単位			
品質管理				Quality Control	1					1	30H+15H/単位			
専門基礎 Specialized Subjects			物質工学基礎演習	Chemical Engineering Practice	1	1								
			専門展開 Advanced and Applied Subjects	機器分析学	Instrumental Analysis	4				4		15H+30H/単位		
				生物工学基礎	Basic Biological Engineering	1			1					
				材料工学基礎	Basic Materials Engineering	1			1					
並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously		専門展開 Advanced and Applied Subjects	環境化学	Environmental Chemistry	1					1	30H+15H/単位 2科目のペアを 4グループ作り 各グループから 1科目ずつ選択			
			高分子化学	Polymer Chemistry	1					1				
			物理化学特論	Topics of Physical Chemistry	1					1				
			分析化学特論	Topics of Analytical Chemistry	1					1				
			化学工学特論	Topics of Chemical Engineering	1					1				
			食品工学	Food Engineering	1					1				
			生物資源工学	Engineering of Biological Resources	1					1				
			エネルギー工学	Power Engineering	1					1				
			小計				Subtotal	25	1	2		2	5	15
			物質コース Materials Engineering Course	機能材料工学Ⅰ	Functional Materials Engineering I	2				2			30H+15H/単位 このうちから 3科目以上選択	
機能材料工学Ⅱ		Functional Materials Engineering II		2					2					
プロセス工学		Process Engineering		2				2						
反応工学		Chemical Reaction Engineering		2					2					
物質工学演習		Exercises in Materials Engineering		2					2					
生物コース Biological Engineering Course		生体触媒工学	Biocatalytic Engineering	2				2		30H+15H/単位 このうちから 3科目以上選択				
		生物工学	Biological Engineering	2				2						
		微生物工学	Microbiological Engineering	2					2					
		生体高分子工学	Biopolymer Engineering	2					2					
		生物工学演習	Exercises in Biotechnology	2					2					
小計				Subtotal	10	0	0	0	4	6				
開設単位数				Total of Credits Offered	97	7	8	18	30	34	授業外科目を除く			
修得可能単位数				Earnable Credit	91	7	8	18	28	30				
授業外科目	学外実習	Extramural Practice	1(2)					1(2)						
	課題研究	Exercises on Engineering	1				1							
	特別講義	Special Lecture	1					1						
	小計		Subtotal	3(4)										

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 (工学博士) Professor	宮 本 信 明 MIYAMOTO, Nobuaki	無機化学, 機器分析学 Inorganic Chemistry, Instrumental Analysis	無機化学 Inorganic Chemistry
教授 (工学博士) Professor	川 瀬 良 一 KAWASE, Ryoichi	機能材料工学Ⅱ, 設計製図 Functional Materials Engineering II, Design and Drawing	溶射工学 Thermal Spray Engineering
教授 (博士 (工学)) Professor	氷 室 昭 三 HIMURO, Shozo	物理化学, 工学基礎Ⅰ Physical Chemistry, Basic Engineering I	物理化学 Physical Chemistry
教授 (薬学博士) Professor	富 永 伸 明 TOMINAGA, Nobuaki	生物工学演習, 生物工学 Exercises in Biotechnology, Biological Engineering	生化学 Biochemistry
教授 (博士 (工学)) Professor	劉 丹 RYU, Tan	物理化学, 分析化学 Physical Chemistry, Analytical Chemistry	分析化学, 環境工学 Analytical Chemistry, Environmental Engineering
特任教授 (博士 (工学)) Research Professor	上 甲 勲 JOKO, Isao	化学工学, 環境化学 Chemical Engineering, Environmental Chemistry	環境工学 Environmental Engineering
准教授 (博士 (工学)) Associate Professor	渡 辺 徹 WATANABE, Tohru	プロセス工学, 化学工学特論 Process Engineering, Topics of Chemical Engineering	化学工学 Chemical Engineering
准教授 (博士 (工学)) Associate Professor	小 林 正 幸 KOBAYASHI, Masayuki	生物化学, 生体高分子工学 Biological Chemistry, Biopolymer Engineering	生物物理化学 Biophysical Chemistry
准教授 (博士 (工学)) Associate Professor	出 口 智 昭 DEGUCHI, Tomoaki	微生物工学, 食品工学 Microbiological Engineering, Food Engineering	微生物工学 Microbiological Engineering
准教授 (博士 (工学)) Associate Professor	田 中 康 徳 TANAKA, Yasunori	機能材料工学Ⅰ, 情報処理 Functional Materials Engineering I, Information Processing	溶射工学, 無機材料化学 Thermal Spray Engineering, Inorganic Materials Science
准教授 (博士(人間・環境学)) Associate Professor	藤 本 大 輔 FUJIMOTO, Daisuke	有機化学, 有機化学実験 Organic Chemistry, Experiments in Organic Chemistry	有機化学 Organic Chemistry
助教 (修士 (工学)) Assistant Professor	永 田 和 美 NAGATA, Kazumi	高分子化学, 有機化学実験 Polymer Chemistry, Experiments in Organic Chemistry	生体高分子工学 Biopolymer Engineering

非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
杉 崎 良 香 SUGISAKI, Ryouka	品質管理 Quality Control	三井東圧無機薬品(株) Mitsui Toatsu Inorganic Chemicals, INC.
小 澤 賢 治 OZAWA, Kenji	電気工学基礎 Basic Electrical Engineering	元有明高専教授 Former Professor of Ariake National College of Technology
上 村 敏 雄 UEMURA, Toshio	機械工学基礎 Basic Mechanical Engineering	(株)エムシー・オペレーションサポート MC Operation Support

卒業生の主な就職先 (最近5年間) List of Principal Employment

旭化成, 有明環境整備公社, エムシーエス, 京セラ, クリタス, 再春館製薬所, 三洋化成工業, 触媒化成工業, 相互薬品, ソニーセミコンダクタ九州, 第一紡績, 大日精化工業, 田中貴金属工業, チッソ石油化学, 中外製薬工業, 東亜石油, 東洋新薬, トクヤマ, 日東電工, 日本ファインコーティングス, 日本ペイント, ニプロ, 日本化学産業, 日本触媒, 半導体エネルギー研究所, 三井金属鉱業, 室町ケミカル, 森永乳業, 山崎製パン, ユニチカ

※平成20年度卒業生の就職先は p57, 進学先は p56.



主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

物質棟

室名	主な設備
第1 機器分析実験室	核磁気共鳴吸収スペクトル装置, X線回折装置, 熱分解ガスクロマトグラフィー, ガスクロマトグラフィー質量分析装置, 電子天秤, 原子吸光分光光度計, TOC分析装置, 紫外可視分光光度計
第2 機器分析実験室	走査型電子顕微鏡, 熱分析, フーリエ変換赤外分光光度計, 電子天秤
無機・分析化学実験室	分光吸光光度計, 電導度計, 電池放電自動記録装置
物理化学実験室	電子冷却恒温槽, 電気炉, 回転真空ポンプ, 反応熱測定装置, 精密直流電流計, アッペ屈折計
有機化学実験室	蒸留水製造装置, 乾燥器
反応工学実験室	熱伝導率測定装置, ボールミル粉碎装置, 多点記録計, 粉体粒度分布測定装置, ブレーン空気透過粉末度測定器
第1 卒業研究室	マイクロビッカース硬度計, 精密切断機, 自動研磨装置, 実体顕微鏡, 流動床造粒装置, デジタルメモリオシロスコープ, 超音波送受信装置, デジタル顕微鏡, 卓上遠心器

生物棟

室名	主な設備
機器分析実験室	高速液体クロマトグラフィー装置, 時間分解蛍光分光光度計, 分光蛍光光度計, 分光光度計, 自動蛍光偏光解消測定装置, 電子天秤
生物工学実験室	純水製造装置, ドラフトチャンバ, ロータリエバポレータ, 精密蒸留装置, 恒温乾燥機, 卓上超遠心機, 電子天秤
微生物工学実験室	DNA シーケンサ, 遺伝子増幅装置, 凍結乾燥機, オートクレーブ
培養室	多機能超遠心機, 超低温フリーザ, クリーンベンチ, 正立蛍光顕微鏡, 振とう培養機, フラクシオンコレクタ
生物反応工学実験室	生物顕微鏡, pHメータ, 乾熱滅菌器, クリーンベンチ, 電子天秤, ドラフトチャンバ



▲生物工学実験

Experiments in Biological Engineering



▲物理化学実験

Experiments in Physical Chemistry



建築学科 Department of Architecture

建築技術者は、人間の社会生活をはぐくむ自然や風土に調和した、豊かな美しい生活空間を創造し、そのことによって文化の発展に寄与するという使命を担っています。また、最近の建物は都市化の進展に伴い巨大化・複合化し、そのためにCADシステムを利用した設計や最新の建設機械を導入した施工が行われるまでに至っています。また、一方では各種の文化的、歴史的、環境的な要因にも目を向け、新しい、より人間的な建築理念の確立への追及が活発となってきています。

建築学科では、このような幅広い専門分野を計画系、環境系、構造系、生産系の4つの系に整理して内容の資質向上を図り、これらによって建築学の基礎知識・技術を修得し、さらに芸術的センスの養成にまで力を注いでいます。具体的には、講義をはじめ、これらにかかわる実験・実習、設計演習、CAD演習、学外研修、さらには卒業研究と卒業設計など多彩なカリキュラムを編成して実践的な建築技術者の養成を目指しています。

Architectural engineers are charged with an important mission of creating a comfortable living space which harmonizes with nature and climate. They are also to make substantial contributions to the advance of culture by creativity. Present-day buildings have become massive and manifold with the growth of cities. Thus, CAD system and advanced construction machines have come into use. On the other hand, we see that architects are paying attention to various cultural, historical, and environmental factors in order to establish a new and more human architectural theory.

To achieve this goal, the department of architecture helps the students to master basic subjects in architecture which are organized into four main fields: planning, environment, structure, and production. In order to become practical engineers the department encourages the students to develop and cultivate their sensibility. In addition to many lectures, the department provides them with varied courses: experiments, design and drawing, drawing with CAD, off-campus research, graduation research, and graduation design.

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

建築学科では、豊かで生活しやすく美しい空間や地震や台風にも耐える建物をつくるために、建物の計画や設計、強さ、つくり方について学習します。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと社会や芸術など、いろんな分野に興味を持ち、勉強している人
- 2) 家づくりやまちづくりに興味を持っている人
- 3) 建築の仕事をとおして、社会に貢献しようと考えている人

In this department, you have an opportunity to learn about design, strength and construction of architecture in order to make a superior, comfortable living space as well as buildings resistant to big earthquakes and typhoons. The students who enter this department are expected:

- 1) to be interested in studying various academic fields including social science and fine arts, as well as mathematics and science
- 2) to be interested in how to dwell and community planning
- 3) to be willing to contribute to society through architectural career

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 多様化する建築界において新しい技術や課題に対応するため基礎学力と幅広い専門知識を有する人材の育成
- (2) 人間の生活環境を豊かにするための創造力や社会で直面するさまざまな課題を解決する総合力・問題解決能力を有する人材の育成
- (3) 建築に対する興味や技術的関心、倫理観や向上心と自立心に支えられた建築技術者としての資質を持った人材の育成

- (1) To develop persons with both basic knowledge and a wide range of technical knowledge to deal with new technology and issues in the diversifying world of architecture.
- (2) To develop persons equipped with creativity to improve people's living environment, and comprehensive problem-solving ability to deal with diverse issues in society.
- (3) To develop persons equipped with essential qualities such as interest in architecture and technique, ethics, aspiration and independence.



教育課程（専門科目） Curriculum

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修 Required Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学基礎 Basic Subjects	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1				
			工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1				
			工学基礎Ⅲ Basic Engineering I II	2	2				
			情報処理基礎 Basic Computer Science	2	2				
			応用物理学 Applied Physics	3		3			
			応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2			2		30H+15H/単位
		計画系 Planning	応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	2			2		30H+15H/単位
			住環境計画 Dwelling Environment Planning	2		2			
			日本建築史Ⅰ History of Japanese Architecture I	1		1			
			西洋建築史 History of European Architecture	1			1		30H+15H/単位
			都市計画 City Planning	1			1		30H+15H/単位
			建築計画Ⅰ Architectural Planning I	2			2		30H+15H/単位
		環境系 Environment	建築環境工学Ⅰ Environmental Engineering in Architecture I	2		2			
			構造力学Ⅰ Structural Mechanics I	2		2			
		構造系 Structure	構造力学Ⅱ Structural Mechanics II	2			2		30H+15H/単位
			材料力学 Strength of Materials	2		2			
			鉄筋コンクリート構造 Reinforced Concrete Structure	2			2		30H+15H/単位
			鋼構造 Steel Structures	2			2		30H+15H/単位
	生産系 Production	建築構法Ⅰ Building Construction I	1		1				
		建築材料 Building Materials	1			1			
	総合 Composition	建築材料実験 Experiment of Building Materials	1			1		45H+0H/単位	
		建築設計演習Ⅰ Architectural Design and Drawing I	1	1					
		建築設計演習Ⅱ Architectural Design and Drawing II	3		3				
		建築設計演習Ⅲ Architectural Design and Drawing III	3			3			
		建築設計演習Ⅳ Architectural Design and Drawing IV	6			6		30H+15H/単位	
		建築設計演習Ⅴ Architectural Design and Drawing V	3				3	30H+15H/単位	
		建築実験実習Ⅰ Architectural Experiment and Practice I	1			1		45H+0H/単位	
		建築実験実習Ⅱ Architectural Experiment and Practice II	1				1	45H+0H/単位	
		外書講読 Reading English Technical Papers	1				1	15H+30H/単位	
		並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	総合 Composition	卒業設計 Graduation Design	4				4
	設備設計演習 Exercises in Building Equipment Design			4				4	
	構造設計演習 Exercises in Structural Design	4					4		
	卒業研究 Graduation Research			10			1	9	
	小計 Subtotal			77	5	6	18	23	25
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学基礎 Basic Subjects	コンピュータリテラシー演習 Computer Literacy	1		1			
			プログラミング演習 Computer Programming	1			1		30H+15H/単位
		計画系 Planning	造形 Basic Design	2	2				
			建築デザインⅠ Architectural Design I	1		1			
			建築デザインⅡ Architectural Design II	1			1		15H+30H/単位
			建築計画Ⅱ Architectural Planning II	1				1	30H+15H/単位
			都市設計 Urban Design	1				1	30H+15H/単位
			日本建築史Ⅱ History of Japanese Architecture II	1			1		30H+15H/単位
		環境系 Environment	近代建築史 History of Modern Architecture	1				1	30H+15H/単位
			建築環境工学Ⅱ Environmental Engineering in Architecture II	2			2		30H+15H/単位
		構造系 Structure	建築設備Ⅰ Building Equipment I	2				2	15H+30H/単位
			構造計画 Structural Design	1				1	30H+15H/単位
			基礎構造 Foundation Structures	1				1	30H+15H/単位
		生産系 Production	建築法規 Building Code	1				1	30H+15H/単位
			建築構法Ⅱ Building Construction II	1		1			
		総合 Composition	建築生産 Building Production	2				2	15H+30H/単位
			建築創造演習 Creative Exercises in Architecture	1			1		
		小計 Subtotal			20	2	2	1	5
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	計画環境 Planning and Environment	建築設計論 Theory of Architectural Design	1				1	30H+15H/単位 この中から 3科目選択
			建築設備Ⅱ Building Equipment II	1				1	
			建築デザイン演習 Exercises in Architectural Design	1				1	
			構造力学特論 Advanced Structural Mechanics	1				1	
			建築塑性解析 Plastic Analysis of Building Structures	1				1	
			建築振動学 Structural Dynamics	1				1	
	小計 Subtotal			6	0	0	0	6	
開設単位数 Total of Credits Offered			103	7	8	19	28	41	
修得可能単位数 Earnable Credit			92	7	8	19	28	30	
授業外科目	学外実習 Extramural Practice		1(2)				1(2)		
	課題研究 Exercises on Engineering		1			1			
	特別講義 Special Lecture		1				1		
	小計 Subtotal		3(4)						

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (博士(人間環境学))	北岡 敏郎 KITAOKA, Toshiro	建築計画, 建築デザイン Architectural Planning, Architectural Design	建築計画学 Architectural Planning
教授 Professor (博士(情報工学))	薦 敏和 TOBI, Toshikazu	建築環境工学, 建築設備 Architectural Environmental Engineering, Building Equipment	建築環境工学 Architectural Environmental Engineering
教授 Professor (博士(工学))	上原 修一 UEHARA, Shuichi	鉄筋コンクリート構造 Reinforced Concrete Structures	建築構造学 Structural Engineering
教授 Professor (工学博士)	松岡 高弘 MATSUOKA, Takahiro	建築史(日本・西洋), 建築設計演習 History of Architecture (Japan, Europe), Architectural Design and Drawing	建築史学 History of Architecture
准教授 Associate Professor (博士(工学))	小野 聡子 ONO, Satoko	構造力学, 建築振動学 Structural Mechanics, Structural Dynamics	建築構造学 Structural Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	加藤 浩司 KATO, Koji	都市計画, 建築設計演習 City Planning, Architectural Design and Drawing	都市計画学 City Planning
准教授 Associate Professor (博士(工学))	岩下 勉 IWASHITA, Tsutomu	鋼構造, 材料力学 Steel Structures, Strength of Materials	建築構造学 Structural Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	下田 誠也 SHIMODA, Seiya	建築材料, 建築材料実験 Building Materials, Architectural Material Experiment	建築材料学 Building Material
助教 Assistant Professor (修士(工学))	切原 舞子 KIRIHARA, Maiko	建築設計論, 建築設計演習 Theory of Architectural Design, Architectural Design and Drawing	建築計画学 Architectural Planning
助教 Assistant Professor (修士(学術))	飛田 国人 TOBITA, Kunihito	建築環境工学, 建築設計演習 Architectural Environmental Engineering, Architectural Design and Drawing	建築環境工学 Architectural Environmental Engineering

非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
曾川 悟 SOGAWA, Satoru	建築生産 Building Production	元(株)竹中工務店 Former TAKENAKA Planners, Architects, Engineers & Contractors
中野 博 NAKANO, Hiroshi	建築測量 Surveying for Building Construction	中野土地家屋調査士事務所 所長 President, NAKANO Land and House Surveyor Office
甲斐 富士雄 KAI, Fujio	建築法規 Building Code	(財)福岡県建築住宅センター Fukuoka Prefectural Building and Housing Center
高巢 光男 TAKASU, Mitsuo	建築設計演習 Architectural Design and Drawing	(株)高巢設計事務所 代表取締役 Representative director, TAKASU ARCHITECT OFFICE Co., LTD.
八下田 裕之 YAGETA, Hiroyuki	建築設計演習 Architectural Design and Drawing	(株)ヤゲタデザイン 一級建築士事務所 代表 YAGETA DESIGN, Architect
加治屋 理愛 KAJIYA, Yoshie	造形 Basic Design	明光学園中学校・高等学校 美術講師 Meiko Gakuen Junior & Senior High School
板谷 謙一 ITAYA, Kenichi	建築生産システム工学 Building Materials and Production, Management Systems Engineering	日高建設(株) HIDAKA Construction

卒業生の主な就職先 (最近5年間) List of Principal Employment

上村建設, 緑積算事務所, NTT ファシリティーズ, 大林組, 九州積算, 九州大学施設部, 九州旅客鉄道, 九鉄工業, 鴻池組, コクヨエンジニアリング&テクノロジー, 清水建設, 新菱冷熱工業, 住友不動産, 銭高組, ダイダマン, 大和ハウス工業, 高砂熱学工業, 高巢設計事務所, 竹中工務店, TAK-QS, 東レ建設, 戸田建設, 西松建設, 日本ビソー, 福岡構造, 前田建設工業, 松尾建設, 松尾設計, ユニオン建材ビルダー, 横河ブリッジホールディングス
※平成20年度卒業生の就職先は p57, 進学先は p56.



主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
材料実験室	ボール盤、乾燥機、ウルトラソニースコープ、工作台、各種作業工具
製図室	製図台（平行定規）
木工室	万能丸鋸盤、測量機器
構造実験室	アムスラー型万能試験機（2000kN、300kN）、500kN構造物試験機、疲労試験機（200kN、50kN）、油圧サーボ式材料試験機、電磁型振動台、光弾性実験装置、電気抵抗ひずみ計、各種記録器、輝度計、照度計、騒音計、高速度レベル記録機、日射計
CAD 室	コンピュータ、プリンタ、プロッタ、プロジェクタ
設計演習室	石膏像、ビデオ装置、スライド映写機、製図台（平行定規）
コンクリート実験室	電気溶接機、ガス溶断機、切断機、可搬傾胴型ミキサー
マルチメディア室	サーバ、コンピュータ、プリンタ、プロジェクタ



▲建築設計演習

Architectural Design and Drawing



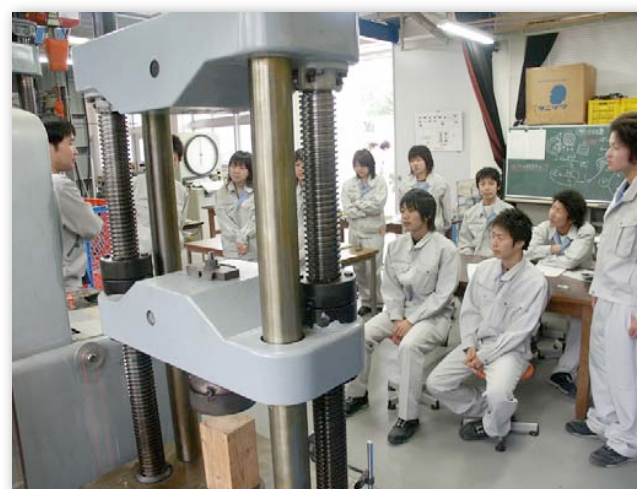
▲建築設計演習

Architectural Design and Drawing



▲コンクリート打設

Concrete Casting



▲材料実験

Experiment of Building Materials



専攻科 Advanced Engineering Course

専攻科では、高専の卒業生を主な対象として2年間の工業教育を行い、21世紀の高度科学技術時代、高度情報化時代を担い得る創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目指しています。本校では機械工学、電気工学および電子・情報工学が密接に関与する「生産情報システム工学専攻」、物質工学と生物工学に関する「応用物質工学専攻」及び「建築学専攻」の3コースを設けています。

本専攻科の修了時には大学評価・学位授与機構の認定を得て、学士「工学」の学位を取得できます。

Our Advanced Engineering Course aims to nurture, through our two-year engineering education of graduates mainly from colleges of technology, highly educated practical professional engineers full of creativity, multiplicity, interdiscipline and internationalism who have the ability of playing the leading role in the age of the 21st century of highly advanced science, technology and information. Our Course has three courses: Advanced Production and Information Systems Engineering Course, closely related to mechanical engineering, electrical engineering, and electronics and information engineering; Advanced Chemical Science and Engineering Course, closely related to chemical science and engineering, and biological engineering; Advanced Architecture Course.

Students who have passed through our Course are at the same time able to receive a bachelor's degree in engineering from the National Institution for Academic Degrees

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

有明高専専攻科は、豊かな教養と幅広い専門知識、学際的・複合的視野と論理観、創造性と実践力を身につけた、ものづくりのための技術者を育成することを目指しています。そのため、本専攻科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 工学の基礎を実践的に修得した人
- 2) 自ら課題を深求し、創造的な解決能力を身につけたいと考えている人
- 3) 工学のさまざまな分野に興味を持ち、学際的な領域についても勉強する意欲のある人
- 4) 技術を通じて、社会に貢献したいと考えている人

なお、実社会で活躍しながらキャリアアップしたいと考えている人なども歓迎します。

Ariake National College of Technology Advanced Engineering Course aims to develop ingenious and practical engineers who are able to manufacture quality products, taking advantage of their high culture and extensive expertise supported by interdisciplinary and manifold visions. The students who enter our advanced engineering course are expected:

- 1) to have mastered basic engineering practically
- 2) to be interested in learning how to work out new solutions to the problems they have found
- 3) to be interested in diverse engineering disciplines and motivated to study interdisciplinary academic areas
- 4) to be determined to contribute to society through technology

We also welcome working adult students who are planning to expand their academic and professional backgrounds.



▲共通科目の授業風景
Applied Analysis Class



▲合同特別実験
Advanced Experiments Combination



生産情報システム工学専攻 Advanced Production and Information Systems Engineering Course

現代の工業生産において相互に強く関連し合う機械工学、電気工学、電子情報工学の3分野からなる複合された専攻です。情報化された生産システムを主テーマに学生各人の明確な学習目的のもとに、必要な学識と共同研究や実験により幅広い創造力を養成し、学際的、総合的な課題解決能力を有する技術者の育成を目指しています。

The aim of this course is to foster an understanding of basic subjects and research approaches in the field of mechanical engineering, electrical engineering and electronics and information engineering, thereby enhancing the research capability of students in these fields that are closely related to each other in recent technology. This course also aims to provide an opportunity for students to understand the interdisciplinary implication of their research, by experimental studies and interdisciplinary collaborations with universities and companies.

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

生産情報システム工学専攻では、本科5年間で修得した各々の専門分野をさらに深く勉強します。それに加えて、広く工学分野一般についても見識を深め、複眼的な見方のできる技術者を目指します。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 機械・電気・情報いずれかの専門分野をすでに修め、さらに深く専門分野を勉強する意欲のある人
- 2) 工学の広い分野に興味があり、学際的な領域についても勉強する意欲のある人
- 3) 与えられたテーマの中で、自分の研究を自ら計画し実践していく意欲のある人

In this advanced engineering course, you aim to further pursue the academic fields you have already studied in the five-year regular course. In addition, with a view to broadening your horizon, you should have a deeper understanding of technical engineering in general. The students who enter this advanced engineering course are expected:

- 1) to be motivated to explore their own disciplines after having studied one of the following three fields : mechanical engineering, electrical engineering and electronics and information engineering
- 2) to be interested in studying various fields of engineering and interdisciplinary academic areas as well
- 3) to be motivated to independently plan and pursue their projects within their academic scope, to be willing to make efforts to acquire real-world knowledge

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 高度科学技術社会、国際的なエネルギー問題、環境問題に対応できる論理的思考能力と解決能力を備えた実践的技術者の育成
- (2) 準学士課程での機械、電気、情報工学の基礎的な知識と技術を基に、より高度に融合された機械・電気・情報分野の幅広い専門科目を修得した学際性を備えた実践的技術者の育成
- (3) 高い倫理観を持ち、幅広い視野と国際性を備えた実践的技術者の育成

- (1) To develop practical engineers equipped with critical thinking skills that they can apply to high technology, global energy problems and environmental problems.
- (2) To develop practical engineers with interdisciplinary knowledge who studied technical subjects in the fields of mechanical, electrical and information engineering, based on fundamental knowledge in these fields in a five-year regular course.
- (3) To develop practical engineers equipped with high professional ethics, a wide view, and international mind.

修了生の主な進路 Employment or Academic Position of Graduates

NEC マイクロシステム(株)、(株)NTT PC コミュニケーションズ、キャノンシステムアンドサポート(株)、航空自衛隊、(株)コマツ、(株)SUMCO、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント、ソニーセミコンダクタ九州(株)、ダイハツ工業(株)、トヨタ自動車九州(株)、日本鋳鍛鋼(株)、(株)荏原九州、富士ダイス(株)、(株)安川電機、九州大学大学院、九州工業大学大学院、熊本大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学。

※平成20年度修了生の就職先は p57, 進学先は p56.



応用物質工学専攻 Advanced Chemical Science and Engineering Course

本専攻科では、5年間の教育課程で習得した基礎学力を基盤として、化学技術やバイオ関連技術の進展に対応しうる高度な知識と技術を有する技術者を育成します。また、学際領域にわたる幅広い専門的知識を有し、高い独創力や解析力をもつ科学技術者の人材育成を目指します。

In this advanced course, based on the fundamental knowledge received in the five-year curriculum, students are going to study on highly advanced knowledge and expertise sufficient to deal with the progress of chemical technology and biotechnology. This course also aims to educate students to be chemical engineers of highly creative and analytic abilities with a wide range of interdisciplinary knowledge.

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

応用物質工学専攻では、高専本科5年間の教育課程で修得した基礎学力を基盤として、化学技術やバイオ関連技術の進展に対応しうる高度な知識と技術を有する技術者の養成を目指しています。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 化学や生物などの自然科学について基本の知識をもち、それを身近な問題に応用できる人
- 2) 学際領域にわたる幅広い専門知識を修得し、高い独創力や解析能力を身につける意欲のある人
- 3) グローバルな視点で物事を考えることができ、倫理観のある人

In this advanced course based on the fundamental knowledge acquired in the five-year regular course, you aim to be engineers with knowledge and skills highly developed to keep up with the progress of chemical technology and biotechnology. The students who enter this advanced engineering course are expected:

- 1) to be equipped with basic knowledge of natural science including chemistry and biology, and be able to apply it to phenomena in daily life
- 2) to be motivated to acquire extensive expertise of interdisciplinary fields, ingenuity and analytic ability
- 3) to be equipped with global visions and a high ethical sense

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 化学技術やバイオテクノロジーの進展に対応しうる知識と技術をもち、これを化成品、材料、食品、医薬品などの開発、製造などに展開する能力を有する実践的技術者の育成
- (2) 基礎的・専門的学力と学際領域にわたる幅広い知識を活用して、環境に配慮したものづくりができる実践的技術者の育成
- (3) 工業生産活動におけるニーズとシーズを的確に捉える能力を持ち、国際性を備えた実践的技術者の育成

- (1) To develop practical and innovative engineers with knowledge and skills in chemical engineering and biotechnology to be applied to development and production of chemical, materials, foods and medicine.
- (2) To develop practical engineers who can produce goods conserving the natural environment, using basic and technical expertise and a wide range of interdisciplinary knowledge.
- (3) To develop practical engineers with international mind and the ability to adequately grasp market needs and technical "seeds" in industrial production activities.

修了生の主な進路 Employment or Academic Position of Graduates

九州化学工業(株)、三西開発(株)、昭栄化学工業(株)、田中貴金属工業(株)、中外テクノビジネス(株)、(株)東洋新薬日立化成工業(株)、ヤマハ発動機(株)。

九州大学大学院、九州東海大学大学院。

※平成20年度修了生の就職先は p57、進学先は p56。



建築学専攻 Advanced Architecture Course

高専の5年間の課程で習得した実践的技術力を基礎に、高度な専門性や優れた創造性に加えて幅広い工学知識をもった建築技術者の育成を目指しています。すなわち 1) 計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかの領域に重点をおいた高度な実践的技術を教授し、2) 研究活動を中心に設計コンペ応募や企業研修等を通して論理的思考能力や実践的技術センスを育成するとともに、3) 学際領域の専門知識を習得させます。

The curriculum provides the students either of planning and environment of architecture or of structural engineering and production of architecture with the subjects on advanced practical technology based on the basic knowledge acquired during the regular five-year course of Kosen. It also provides the opportunities for obtaining wide interdisciplinary knowledge in advanced class, for training their ability to think logically and for obtaining practical knowledge of technology by means of researches, entry for design competitions, and training at companies, so that the students may be able engineers with wide interdisciplinary and much expert knowledge, and ability to create.

アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

建築学専攻では、本科で修得した一般および専門の基礎学力を土台として、創造性に富み、かつ実践的技術力の高い建築技術者の育成を目指しています。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 豊かな生活空間の創造に意欲的に取り組める人
- 2) 建築の計画・構造・設備などの基礎的知識を習得している人
- 3) 学際的な幅広い専門知識と設計演習や実験・実習を通じた実践的技術を修得したいと考えている人

In this advanced course, based on the general and discipline-specific knowledge acquired during the five-year regular course, you aim to be architectural engineers with high creativity and practical skills. The students who enter this advanced course are expected:

- 1) to be motivated to create superior and comfortable living space
- 2) to have acquired basic knowledge of planning, structure and facilities in architecture
- 3) to be interested in acquiring extensive interdisciplinary expertise and skills through design exercises, experiments and laboratory studies

教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかに重点を置いた高度な実践的技術を有する人材の育成
- (2) 建築界における諸問題を捉え、解決に導くための論理的思考能力や実践的技術センスを有する人材の育成
- (3) 建築分野のみならず、建築分野以外の領域にまたがる課題に対しても対応できる資質を有する人材の育成

- (1) To develop persons who have highly developed practical skills focusing on either planning / environment or structure / production.
- (2) To develop persons who have critical thinking and the practical skills necessary to understand and solve diverse problems in architectural fields.
- (3) To develop persons who have qualities to deal with issues within architecture and its related fields.

修了生の主な進路 Employment or Academic Position of Graduates

(株)NTT ファシリティーズ, (株)奥谷組, (株)セブティク建築研究所, 大和ハウス工業(株), 高砂熱学工業(株), (株)西日本建設.

千葉大学大学院, 早稲田大学芸術学校都市デザイン科.

※平成 20 年度修了生の就職先は p57, 進学先は p56.



専攻科教育課程 Curriculum

一般科目(各専攻共通) General Education

授業科目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes
				1年 1st		2年 2nd		
				前期	後期	前期	後期	
一般科目 General Subjects	必修 Required Subjects	英語講読Ⅰ Advanced English ReadingⅠ	2	2				
		英語講読Ⅱ Advanced English ReadingⅡ	2		2			
		技術者倫理 Engineering Ethics	2		2			
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	6	2	4			
	選択科目 Elective Subjects	日本語の表現技法 Advanced Writing and Speaking in Japanese	2				2	
		英語コミュニケーション English Communication	2			2		
		科学技術英語 Technical and Scientific English	2	2				
		地域特性と人間生活 Regional Features and Human Life	2			2		
		地球環境と人間 The Environment of the Earth and Human	2		2			
		選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	10	2	2	4	2	
一般科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		16	4	6	4	2		
専門基礎科目 Basic Subjects for Engineering	選択科目 Elective Subjects	応用解析Ⅰ Applied AnalysisⅠ	2	2				
		応用解析Ⅱ Applied AnalysisⅡ	2	2				
		応用数理Ⅰ Applied MathematicsⅠ	2		2			
		応用数理Ⅱ Applied MathematicsⅡ	2			2		
		現代物理 Modern Physics	2		2			
		現代化学 Modern Chemistry	2	2				
		環境科学 Environmental Science	2			2		
		専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Basic Subjects for Engineering	14	6	4	4		
	一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered		30	10	10	8	2	

専門科目(生産情報システム工学専攻) Advanced Production and Information Systems Engineering Course

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes
			1年 1st		2年 2nd		
			前期	後期	前期	後期	
必修科目 Required Subjects	生産情報システム特別研究 Thesis Research	12	3	3	3	3	
	生産情報システム技術英語 Advanced English for Engineers	2	2				
	合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1				
	生産情報システム特別実験 Advanced Experiments	1		1			
	基礎設計特別演習 Advanced Exercise for Design Fundamentals	2	1	1			
	創造設計特別演習 Advanced Exercise for Creative Designing	2			2		
	創造設計合同演習 Advanced Exercise Combination Creative Designing	2				2	
	特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2	2				
	必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	24	9	5	5	5	
	基礎工学 Basic Subjects	工業基礎力学 Dynamics and Design	2		2		
材料科学 Materials Science		2		2			M, I系に開講
実用情報処理 Advanced Computer Literacy		2	2				M, E系に開講
設備設計 Design of Air-Conditioning		2			2		
環境調整学 Environment Control Engineering		2			2		
環境工学 Environmental Engineering		2			2		
機械システム要素 Mechanical Systems Elements		2	2				E, I系に開講
メカトロニクス概論 Introduction to Mechatronics		2		2			E, I系に開講
熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics		2			2		I系に開講
電気機器概論 Introduction to Electric Machinery		2			2		M, I系に開講
複合的・学際的 Interdisciplinary Subjects	情報システム Information System	2	2				M, E系に開講
	情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2				2	M, E系に開講
	材料工学概論 Introduction to Materials Engineering	2			2		
	分子生物学 Molecular Biology	2		2			
	建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2			2		
	ユニバーサルデザイン Universal Design	2				2	
	地域協働特論 Topics in Community Collaboration	1			1		開設単位数には含まず
	地域協働演習Ⅰ Exercise in Community Collaboration I	1			1		
	地域協働演習Ⅱ Exercise in Community Collaboration II	1			1		
	特別実習Ⅱ Advanced Extramural Practice II	1~4			1~4		
選択科目 Elective Subjects	深い専門性 Discipline Specific Subjects	エネルギー変換工学 Energy Conversion Engineering	2		2		
		応用流体工学 Applied Fluid Engineering	2		2		
		精密加工工学 Engineering of Precision Manufacturing	2	2			
		塑性加工工学 Theory of Plastic Working	2			2	
		自動生産システム Automatic Production Systems	2				2
		機械システム制御 Mechanical System Control	2	2			
		デジタル制御 Digital Control	2			2	
		レーザー工学 Laser Engineering	2	2			
		パルスパワー工学 Pulsed Power Engineering	2		2		
		機能デバイス工学 Functional Devices	2			2	
		画像処理工学 Image Processing	2			2	
		パワーエレクトロニクス特論 Advanced Power Electronics	2	2			
		応用電子回路工学 Applied Electronic Circuits	2				2
		電子物性工学 Material Science for Electronics	2	2			
		システム情報モデル Modeling for Information Processes	2		2		
		デジタル回路設計 Digital Systems Design	2			2	
		アルゴリズム論 Advanced Course of Algorithms	2	2			
		ソフトウェア開発管理論 Advanced Software Engineering	2			2	
		応用情報工学 Advanced Information Engineering	2			2	
		光応用工学 Applied Optics	2		2		
情報通信工学 Information Network Engineering	2				2		
選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects		74	18	18	28	10	
専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects		98	27	23	33	15	
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		30	10	10	8	2	
開設単位数総計 Total of Credits Offered		128	37	33	41	17	
修得単位数総計 Total of Credits Required		62以上					



専門科目(応用物質工学専攻) Advanced Chemical Science and Engineering Course

授業科目 Subject		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes
			1年 1st		2年 2nd		
			前期	後期	前期	後期	
専門科目 Technical Subjects	必修科目 Required Subjects	応用物質工学特別研究 Thesis Research	12	3	3	3	
		応用物質工学技術英語 Advanced English for Engineers	2	2			
		合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1			
		応用物質工学特別実験Ⅰ Advanced Exercises I	1		1		
		応用物質工学特別実験Ⅱ Advanced Exercises II	1			1	
		創造設計合同演習 Advanced Exercise Combination Creative Designing	2				2
		応用物質工学特別演習 Advanced Exercise for Creative Designing	2	1	1		
		特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2	2			
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	23	9	5	4	5
	基礎工学 Basic Subjects	工業基礎力学 Dynamics and Design	2		2		
		材料科学 Materials Science	2		2		
		実用情報処理 Advanced Computer Literacy	2	2			
		設備設計 Design of Air-Conditioning	2			2	
		環境調整学 Environment Control Engineering	2			2	
		環境工学 Environmental Engineering	2			2	
		機械システム要素 Mechanical Systems Elements	2	2			
		熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics	2			2	
		電気電子工学概論 Introduction to Electrical and Electronic Engineering	2		2		
		情報システム Information System	2	2			
	複合的・学際的 Interdisciplinary Subjects	情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2				2
		分子生物学 Molecular Biology	2		2		
		建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2			2	
		ユニバーサルデザイン Universal Design	2			2	
		地域協働特論 Topics in Community Collaboration	1			1	
		地域協働演習Ⅰ Exercise in Community Collaboration I	1			1	
		地域協働演習Ⅱ Exercise in Community Collaboration II	1			1	
		特別実習Ⅱ Advanced Extramural Practice II	1~4			1~4	
		応用物理化学 Applied Physical Chemistry	2	2			
		無機構造化学 Structures in Inorganic Chemistry	2			2	
	深い専門性 Discipline Specific Subjects	有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	2	2			
		応用分析化学 Applied Analytical Chemistry	2		2		
		無機材料化学 Inorganic Material Chemistry	2			2	
		応用化学工学 Applied Chemical Engineering	2			2	
		遺伝子工学 Genetic Engineering	2				2
		環境生物工学 Environmental Bioengineering	2				2
		応用反応工学 Applied Reaction Engineering	2		2		
		選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	46	10	12	16	8
		専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects	69	19	17	20	13
		一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects	30	10	10	8	2
開設単位数総計 Total of Credits Offered		99	29	27	28	15	
修得単位数総計 Total of Credits Required		62 以上					

専門科目(建築学専攻) Advanced Architecture Course

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes	
			1年 1st		2年 2nd			
			前期	後期	前期	後期		
専門科目 Technical Subjects	Required Subjects 必修科目	建築学特別研究 Thesis Research	12	3	3	3	3	
		建築学技術英語 Advanced English for Engineers	2	2				
		合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1				
		建築設計特別演習Ⅰ Advanced Architectural Design and Drawing I	2	2				
		建築設計特別演習Ⅱ Advanced Architectural Design and Drawing II	2			2		
		創造設計合同演習 Advanced Exercise Combination Creative Designing	2				2	
		特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2	2				
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	23	10	3	5	5	
	Basic Subjects 基礎工学	材料科学 Materials Science	2		2			
		実用情報処理 Advanced Computer Literacy	2	2				
		環境調整学 Environment Control Engineering	2			2		
		環境工学 Environmental Engineering	2			2		
		機械システム要素 Mechanical Systems Elements	2	2				
		熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics	2			2		
		電気電子工学概論 Introduction to Electrical and Electronic Engineering	2		2			
		情報システム Information System	2	2				
		情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2				2	
		材料工学概論 Introduction to Materials Engineering	2			2		
	Elective Subjects 選択科目	分子生物学 Molecular Biology	2		2			
		建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2			2		
		ユニバーサルデザイン Universal Design	2				2	
		地域協働特論 Topics in Community Collaboration	1		1			開設単位数に含まず
		地域協働演習Ⅰ Exercise in Community Collaboration I	1		1			
		地域協働演習Ⅱ Exercise in Community Collaboration II	1		1			
		特別実習Ⅱ Advanced Extramural Practice II	1~4		1~4			
		建築防災システム工学 Disaster Prevention Systems Engineering	2		2			
		居住地計画論 Planning of Community Housing	2	2				
		都市・空間デザイン論 Urban and Space Design	2		2			
	景観設計論 Landscape Design	2			2			
	近代化建築史論 History of Japanese Modernization Period Monuments	2			2			
	建築保存再生論 Preservation and Reproduction Historic Buildings	2				2		
	構造解析学 Structural Analysis	2	2					
	鉄筋コンクリート耐震構造設計論 Seismic Design of Reinforced Concrete Structures	2		2				
	鋼構造設計論 Design of Steel Structures	2			2			
	建築構造設計論 Structural Article for Architecture	2				2		
	選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects		46	10	12	16	8	
	専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects		69	20	15	21	13	
	一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		30	10	10	8	2	
開設単位数総計 Total of Credits Offered		99	30	25	29	15		
修得単位数総計 Total of Credits Required		62以上						



「複合生産システム工学」プログラム Production System Engineering Program

本校では平成13年度に専攻科が設置されたことに伴い、「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性・多様性・学際性・国際性に富む実践的な高度技術者の育成をめざす」という教育理念を踏まえ、本科4年次から専攻科2年次までの4年間の学習・教育に対して、技術者教育プログラムとして「複合生産システム工学」プログラムを設定し、社会のさまざまな要請にこたえられる技術者教育を行っています。

本校では平成16年度に本プログラムのJABEE※1) 認定審査を受け、社会の要求水準を満たしているプログラムとして認定されました。

Along with the establishment of the Advanced Engineering Course in 2001, Production System Engineering Program has been launched as an engineering education program for our four-year education for the upper grade students of the regular course and advanced course students. This program, with the aim of providing distinguished engineers who meet the diverse needs of society, is designed in harmony with our regular course education principle that our students should be educated to be technological engineers characterized by creativity, diversification, interdisciplinarity and internationality, on the basis of extensive knowledge of basic technology as well as high culture.

In 2004, our program had been examined for accreditation by JABEE※1) and accredited as the program which reaches the levels expected by society.

※1) JABEEとは

JABEEとは日本技術者教育認定機構 (Japan Accreditation Board for Engineering Education) の略称です。これは1999年11月に設立され、技術系学会と密接に連携しながら技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体です。

JABEE認定制度とは大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する制度で、わが国の技術者教育の国際的な同等性を確保することを目的としています。すなわちJABEE認定されたプログラムの質が満足するべきレベルにあることと、またその教育成果が技術者として活動するために必要な最低限度の知識や能力の養成に成功していることが認定されることになります。

※1) About JABEE

Established in November, 1999, the Japan Accreditation Board for Engineering Education (JABEE) is a nongovernmental organization that examines and accredits programs in engineering education in close cooperation with engineering associations and societies. In their accreditation system, an outside organization can fairly evaluate whether programs in engineering education conducted by institutions of higher education such as universities reach the levels expected by society and accredit those programs that reach such levels, ensuring the international equivalency of engineering education programs in Japan. The accreditation by JABEE certifies the quality of the program accredited has a satisfactory level and has successfully provided the students with enough knowledge and capacities to work as professional engineers.



▲特別研究 (応用物質工学専攻)
Thesis Research



▲設計演習 (建築学専攻)
Design and Drawing



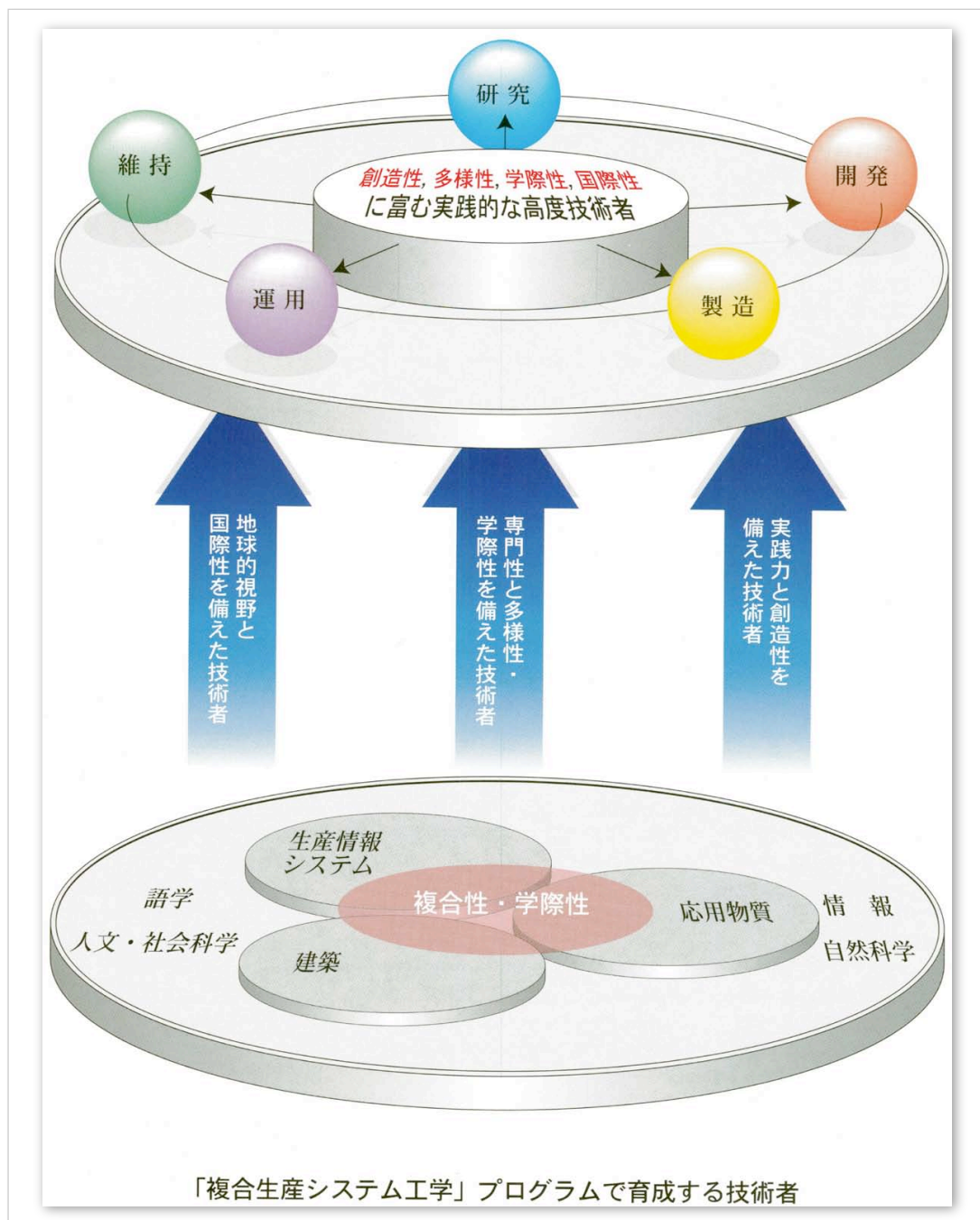
本プログラムで育成する技術者像 The Image of Engineers to Be Developed

本プログラムでは、工業生産活動（機械、電気、電子・情報、物質、建築）における諸課題を自ら発掘し、多角的な視点から解決するため、ものづくりに重点をおき、工学の専門知識と学際的知識を総合した判断力と問題解決能力を備えた技術者の育成を目指しています。さらにはこれらの教育を通じて、人々に優しく、自然と共存できる技術の開発に携わり、環境問題・食糧問題・エネルギー問題など今日的な諸課題について柔軟に対応できる技術者を育成することを目的としています。

本プログラムを修了することで、前記の学習・教育目標を達成することができます。

This program aims to develop practical engineers in industrial production activities, including in mechanical, electrical, electronic and information, chemical science, and architectural engineering. They should be able to find out issues in their own fields and address them from multiple visions, with an emphasis on design and manufacturing. They should also be equipped with a good sense to synthesize discipline-specific knowledge and interdisciplinary knowledge. Another aim of the program is to foster engineers who are ready to be involved in developing technology friendly both to humans and the environment, and flexibly deal with the current problems of the environment, food supply and energy.

By completing this program, the (previous) educational goals will be reached.



図書館（マルチメディアセンター図書情報管理部） Library

図書館には、現在（平成21年3月末）54,930冊の図書が収蔵されています。閲覧室は、学習閲覧室と研究閲覧室に分けられ、それぞれ様々な分野の学習や調査・研究に必要な図書や専門雑誌、その他の資料を配置しています。図書や専門雑誌の他に、利用者は一般雑誌や新聞、DVD、その他の授業に関連した資料を利用できます。

図書館は、夜間（夜8時まで）および土曜日（午前10時から午後4時まで）も開館し、学生や教職員の学習や調査・研究を支援しています。また、一般市民にも開放され、資料の閲覧だけでなく、貸出も行っています。

図書館には、視聴覚室やセミナー室が設備されている他、1階ロビーには、美術ギャラリーが開設され、地元画家の絵画など約30点展示しています。

The Library now contains as many as 54,930 volumes. On the second floor are an independent study hall and a reading room for study and research, each section houses books, journals and other materials needed for research and investigation in various subjects. In addition to books and journals, the students will find magazines, newspapers, DVDs and other aids related to class assignments.

The Library opens from 8:30 a.m. to 8 p.m. on weekdays, from 10 a.m. to 4 p.m. on Saturdays in order to support students and other visitors for their studies, investigation and research. The Library is also open to the people outside the college and they can borrow materials as well as read books.

An audio-visual facility and a seminar room are available. And a gallery was opened in the lobby on the first floor. About thirty paintings painted by local artists are exhibited.

蔵書構成 Collection of Books

分類 Classification		000 総記 General Works	100 哲学 Philosophy	200 歴史 History	300 社会科学 Social Science	400 自然科学 Natural Science	500 工学 Engineering	600 産業 Industry	700 芸術 Arts	800 語学 Language	900 文学 Literature	合計 Total
冊数 Number of books	洋書 Foreign	337	118	272	165	713	701	8	55	502	2,431	5,302
	和書 Japanese	4,705	1,498	4,544	3,811	7,515	14,372	283	1,952	1,693	9,255	49,628
	計 Total	5,042	1,616	4,816	3,976	8,228	15,073	291	2,007	2,195	11,686	54,930



▲美術ギャラリー
Art Gallery



▲閲覧室
Reading Room



情報処理センター（マルチメディアセンター情報化推進部） **Information Processing Center**

情報処理センター（マルチメディアセンター情報化推進部）は、本校のコンピュータリテラシを中心とした情報基礎教育の支援や情報通信技術を用いた一般教育科・専門学科・専攻科の教育研究の推進と、校内LANシステムの維持管理を行います。

教育用コンピュータ演習室には、ネットワークで管理されたコンピュータを備えています。これらは、コンピュータリテラシ・語学教育・情報処理教育などのコンピュータを利用した教育に利用されます。

校内LANシステムは、Gigabitの高速ネットワークで構築されており、教職員や学生の間の情報交換に盛んに利用されています。また、高速回線でインターネットへ接続されており、電子メールやWWW（World Wide Web）などのサービスも行っています。

The information processing center does the support of the education of the information basics, the promotion of the education and the research with information and communication technology, and the maintenance and the management of the campus LAN(Local Area Network) system.

In the computer room for the education, it is equipped with the computer which was managed by the network. These are used for the education which used the computer of the computer literacy, the language education and the information processing education and so on.

Campus LAN system is constructed on the high-speed network of Gigabit Ethernet and is used for the communication between the staff and the student. The campus LAN is connected to the Internet with the high-speed line and provides the service of the E-mail and WWW(World Wide Web) and so on.

校内 LAN 機器

装 置 名	型 名
センタースイッチ	Cisco Catalyst6506 Cisco Catalyst3750
フロントスイッチ	Cisco Catalyst2960G
エッジスイッチ	Cisco Catalyst2960G Cisco Catalyst3512 Cisco Catalyst3524 Cisco Catalyst2950
サーバ類	IBM xSeries330

教育用コンピュータ機器

装 置 名	型 名
VIDシステムクライアント	Mint PC ridotto A
液晶モニタ	I-O DATA LCD-A153V
レーザープリンタ	EPSON LP-9200
液晶プロジェクタ	CASIO XJ-450
ネットワークカメラ	SONY SNC-RZ30
教育用サーバ	IBM xSeries306
教育用ファイルサーバ	IBM xSeries306



▲演習室での英語の授業

Education of English at the Personal Computer Room



▲演習室での情報処理の授業

Education for Computer Literacy
at the Personal Computer Room



総合研究棟 General Research Building

総合研究棟は、専攻科の拠点と地域連携のための共用実験室等からなる研究・教育のための施設で、平成15年3月に竣工しました。1階に展示場にも使えるロビー、地域共同テクノセンター事務室、大型機械を持ち込める総合研究室1、2階に専攻科講義室および総合研究室2、3階・4階に専攻科各分野の実験研究室、専攻科生の学習室、および電子情報工学科棟との連結部にリフレッシュコーナーがあります。

リフレッシュコーナーは共用施設でミニキッチン等も備え、学生が勉強の間にくつろぐ空間として利用されます。建物の構造は、地震に対してより強くするため、低降伏点鋼ダンパーを架構に装着し、3・4階は吊り構造にするなどの工夫をしています。また、地中の冷熱利用と太陽光発電装置を備え、室内空調の動力の一部を補っています。

The General Research Building was completed in March in 2003, which is the institute for research and education composed of the building for the advanced engineering course and the joint laboratories for the Regional Collaboration Center. The 1st floor has an exhibition hall, a Regional Collaboration Center office and a joint laboratory which has capacity of large machines. The 2nd floor has a joint laboratory and lecture rooms for advanced engineering course students. The 3rd and 4th floors have laboratories exclusively for each major and study rooms for the students.

There are lounges at the connections with the Electronics and Information Engineering Faculty Building. The lounge, a common facility provided with a mini-kitchen, offers a space for the students to relax at recess. The frames are equipped with the low-yield-point hysteretic steel dampers for seismic response control and the 3rd and 4th floors have suspension structure. Moreover, the utilization of the cold heat strage in underground and photovoltaic power generation system installed on the building serve as supplementary energy for room air conditioners.



▲リフレッシュコーナー
Lounges



▲総合研究棟（左）と電子情報工学科棟
General Research Building(left),
Electronics and Information Engineering Faculty Building



地域共同テクノセンター Regional Collaboration Center

地域共同テクノセンターは、高専におけるものづくり基盤技術の教育・研究・開発機能を高めて、中小企業等を対象とした技術相談や共同研究機能等を強化し、地域における産学官連携・協力を通じて地域の活性化を図ることを目的としています。また、当センターでは、地域の子供達および社会人向けの公開講座も企画・運営しています。

Regional Collaboration Center was founded for the purpose of activating the community through our college's active collaboration with local industries and local governments. It also aims at performing the functions of the education of, the research into, and the development of basic technology in producing commodities as well as holding a consultation with minor enterprisers in the area about technological problems and conducting the joint searches with them.

Moreover, this center plans and manages the extension lectures for regional children and adults.



▲分科会
Subcommittee

教育研究技術支援センター Technical Support Center for Education and Research

高専は、実践的技術者の育成という教育目標を掲げていますので、カリキュラムにはかなりの時間の実験・実習が組み込まれています。学生の実験・実習には技術職員の指導が不可欠であり、技術職員は本校教育の重要な役割を担っています。

近年、技術職員もさらなる技術の向上そして研究が求められるようになり、さらに他学科への支援も不可欠になることが見込まれ、教育研究技術支援センターが組織されました。

センターでは、技術職員の技術力の向上を図るため、外部での技術研修に積極的に参加すると共に、学内でも各班が輪番で技術研修会を計画実施しています。また教員と共同研究をする技術職員も増えつつあり、着実に技術力を向上させています。

Our college sets a goal of training the students to be practical engineers, and therefore, the curriculum asks them to spend a lot of time performing experiments and having practical training. The guidance of technical officials are indispensable to the students' experiments and practical exercises, so they take an very important role in the education.

Nowadays, technical officials are asked to attain proficiency in their skills to perform researches themselves and to give technical assistance to the other departments. Under these circumstances the Technical Support Center for Education and Research has been organized.

In order to reach higher technological levels, the Center's technical officials are to attend many technical workshops outside the college. Some groups of them regularly and discuss to innovate their skills. More and more technical officials have come to perform joint researches with the educational staff, thus their technical skills are being steadily improved.



▲朝礼
Morning Meeting



▲旋盤実習指導
Laboratory work for using lathes



修己館 Shuko-Kan (Students' Hall)

昭和57年度に学生のための福利施設が建設され、昭和58年4月から使用しています。この福利施設は、延面積888㎡の一部2階建鉄筋コンクリート造で「修己館」と称しています。

修己館には、1階に食堂、売店、保健室、カウンセラー室、学生相談室、2階に展示ホール、音楽鑑賞室、学生会室などを設けています。

The Shuko-Kan was built in April 1983 as welfare facility for the students. The two-story building with a floor space of 888m² includes a cafeteria, a health room, and a school store on the first floor. It also houses various students, service rooms on the second floor; an exhibition hall, and a room for the student council.



▲売店
School Store



▲食堂
Cafeteria

学生相談室 Student Counseling Room

平成11年4月にスタートした学生相談室は、修己館に、愛称『七福神の部屋』として開室し、教員4名に、看護師、非常勤カウンセラー2名（臨床心理士・精神科医）を加えた7名のスタッフで対応しています。

『いきいきと豊かな学生生活を送るために』をキャッチフレーズに、悩みや心配事などの相談に応じながら、自己の確立、社会性の育成を目標とし多彩な催しを織り込んだ活動を行っています。

Our counseling system for the students started in April, 1999, at the Student Counseling Room nick-named "Shichifukujin-no-heya"-the Room of the Seven Deities of Good Luck on the first floor of the Shuko-kan (Students' Hall), with the staff of four teachers, a nurse and two part-time counselors.

In order to realize the motto "For the Active and Fruitful Campus Life", we are all ready to listen to the students and share their worries and trouble, offering appropriate advice and suggestions. Moreover, we would like to function as a supporter for the students to establish themselves and learn how to maintain a harmonious relationship in the society.



▲相談室スタッフ
Staff



▲学生相談室
Counseling Room



進路支援室 Career Support Office

進路支援室は、在校生にとって、よりよい進路選択に役立つような企画や活動を行うために、平成18年度に開設されました。「よりよい進路選択に役立つ活動」とは卒業する時だけに役に立つ活動ではなく、その後々までも役に立つ「職業観形成」の一助になるような活動を意味します。まずは1年生の後半に、キャリアコンサルタントによるセミナーを計画しています。その後も年次を追うごとに、年次に見合ったセミナーや啓発活動を計画して行きます。

Career Support Office (CSO) was established in 2006 in order to make plans and promote activities to help the students choose better future career. Our activities are expected to contribute to forming their view of career useful to them not only on graduation, but continue to be helpful even at later stages of life. As the initial event, career seminars are being planned.



▲進路セミナー
Career Seminar



▲進路情報コーナー
Career Information Corner

有友情報室 You-You Information Office

有友情報室は、従来の同窓会組織とは別に、学校と卒業生とが相互に情報交換を図る目的から、平成18年度に開設されました。有友情報室の具体的な活動としては、例えば、卒業生のUターン情報などを含む転職・求人情報提供などを行います。逆に、卒業生からは、学校教育への有用な情報提供・人的支援などを頂くものです。同じく平成18年度に開設されました進路支援室とも連携しながら、学生のためのキャリア教育を含む進路支援への有効な情報提供も図っていきます。

You-You Information Office (YYIO) was established in 2006, separately from the alumni association, in order to promote mutual information exchange between ANCT and the graduates. As its specific activities, the office offers employment information to the graduates who plan to change jobs, or to return from the city to home to work. In return, we can get their useful information or human support for the college education. In collaboration with Career Support Office (CSO) also founded in the same year, this office also aims to offer students useful information on their future course including career education.



学寮 Dormitory

緑深い台地の校舎地区から坂を下ると、国指定文化財で6世紀の装飾古墳の一つである萩ノ尾古墳を経て、県境を隔てて、隣接する形で関川のほとりに「岱明寮」があります。

“若者”の健全な成長を象徴して「若葉」「青葉」「紅葉」「銀杏」「桜」と名付けられた5つの寮舎に近県からの学生263名が起居をともにし、教員指導のもとに規律正しい集団生活の中でマナーと連帯感を身につけながら、豊かな人間性を養う教育の場として、寮生活を送っています。

また、寮生が自主的に決めた日課の中にうるおいと変化のある多彩な年中行事を織り込み、生活の楽しさのなかに信頼と協調の精神を学びとっています。

Past the national cultural asset Hagi-no-o Old Tomb, one of the ornamental old tombs in the 6th century, which lies far down the slope in front of the college on the green height, there stand the “Taimei” Dormitories located just across the prefectural border along the Seki River.

In the five living houses named “wakaba (young leaves)”, “aoba (green leaves)”, “momiji (maple leaves)”, “ginnan (gingko)” and “sakura (cherry)”, which are symbolic of the healthy growth of young boys and girls. 263 students from Fukuoka and nearby prefectures live together, and lead their dormitory lives training themselves to acquire manners and sense of solidarity in an orderly group life for the purpose of fostering generous human nature under the leadership of the teachers.

The students also cultivate their spirit of trust and cooperation while enjoying their everyday lives and taking various annual events into their voluntary routines.



▲桜棟（女子寮）

Sakura Dorm. (for the female student)

岱明寮入寮定員・現員 Admission Capacity, Present Number

棟名 Name of Dorm.	区分 Classification	入寮学生 Borders	室数 Number of Rooms	定員 Admission Capacity		現員 Present Number
				一室当り Per Room	合計 Total	
若葉棟 Wakaba Dorm.		1・2学年 1st, 2nd	30	2 3	18 63	68
青葉棟 Aoba Dorm.		2学年 2nd	22	1 2 3	3 32 9	39
紅葉棟 Momiji Dorm.		3学年 3rd	21	1 2 3	3 30 9	40
銀杏棟 Ginnan Dorm.		4・5学年, 男子留学生 4th, 5th	75	1	75	71
桜棟 Sakura Dorm. (for the female student)		1～5学年, 女子留学生 1st – 5th	42	1 2	36 12	45
5棟合計 Total					290	263

※平成21年4月20日現在 As of April 20, 2009



教員の研究活動 Research

奨学寄付金

平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	
15 件	15,086 千円	14 件	14,251 千円	21 件	13,265 千円

科学研究費補助金

基盤研究（B）		
線虫のエコトキシコゲノミクス Ecotoxicogenomics of Caenorhabditis elegans	物質工学科 教授 Department of Chemical Science and Engineering Professor	3,000 千円
基盤研究（C）		
緊張 P C 鋼棒による R C 造柱梁接合部の耐震補強法に関する研究 Behavior of Reinforced Concrete Interior Beam-Column Joint Retrofitted by PC Bar Prestressing	建築学科 教授 Department of Architecture Professor	600 千円
安全性を考慮した高齢者研究支援のための体力計測技術の開発に関する研究 Development of Safety Measuring Technology of Physical Performance for Health Promotion of Senior People	機械工学科 准教授 Department of Mechanical Engineering Associate Professor	700 千円
若手研究（B）		
溶接欠陥から発生する脆性破壊の適切な予測手法の開発 Development of prediction method for brittle fracture from weld defects	建築学科 講師 Department of Architecture Lecturer	600 千円
様々な雑音環境下での変数誤差モデル同定とその応用に関する研究 A study on identification of errors-in-variables model under various noisy environments and its application	電気工学科 講師 Department of Electrical Engineering Lecturer	1,200 千円

共同研究・受託研究

平成20年度 共同研究	16 件	14,057 千円
平成20年度 受託研究	4 件	4,677 千円



地域との交流（平成20年度） Regional Interchange (2008)

小・中学生対象講座

連携協力推進会議事業 (大牟田市教育委員会)	「漢字のすごさとおもしろさを知ろう」	9/5	大牟田市諏訪小学校	37名
	「クリップモーターを作り回転競争をしよう」	12/12	大牟田市大正小学校	19名
	「電気の世界をのぞいてみよう」	9/11	大牟田市大正小学校	71名
	「科学と工作をペットボトルから学ぼう」	11/25	大牟田市みなと小学校	53名
	「風上へ進む風力カーって何！」	11/25	大牟田市みなと小学校	69名
	「クリップモーターをつくり回転競争をしよう」	12/5	大牟田市平原小学校	35名
	「ふりこの動きとおもりのしょうとつ」	2/20	大牟田市平原小学校	50名
	「クリップモーターをつくり回転競争をしよう」	12/12	大牟田市諏訪小学校	19名
	「犯人を捜せ！～化学反応を使って指紋を検出しよう～」	9/12	大牟田市勝立中学校	32名
	「折り紙建築」	9/19	大牟田市勝立中学校	32名
理科支援員等配置事業 (福岡県教育委員会)	「色が変わる水」	1/13	大牟田市平原小学校	50名
	「色が変わる水」	2/3	大牟田市大正小学校	52名
	「クリップモーターをつくり回転競争をしよう」	12/18	みやま市飯江小学校	17名
	「クリップモーターをつくり回転競争をしよう」	2/6	みやま市清水小学校	19名
	「クリップモーターをつくり回転競争をしよう」	1/30	柳川市矢加部小学校	17名
	「液体窒素で遊ぼう」	11/25	大牟田市駿馬北小学校	28名
	「液体窒素で遊ぼう」	1/12	大川市木室小学校	42名
その他	「エレクトロもののづくり体験」	1/10	有明高専・佐賀大学共催事業	19名
	「ロボット実演・操縦体験・展示」	11/26,11/28	大牟田市平原小学校	Free
	「ロボット実演・操縦体験・展示」	11/16	大牟田市エコサルクセンター	Free
	「ロボット実演・操縦体験・展示」	1/25	大牟田市石炭科学館	Free

一般市民対象講座

文学講座	9/20	NPO 法人まちづくりあら‘モ	30名
文学講座	12/11	荒尾市立図書館「文学講座」	30名
インターネットセキュリティの基礎知識	10/20		40名
菅原道真の最高傑作「絃意一百韻」の全貌に迫る	11/6,11/27	大牟田市生涯学習課	20名
菅原道真と白楽天の世界～日中漢詩鑑賞～	12/17-3/18(全4回)	「大牟田市民大学講座」	51名

小中学校教員対象講座

大牟田市教育講座	(家と地面は地震でどう揺れるか?)	7/29	有明工業高等専門学校	52名
大牟田市教育講座	(実験への安心の心得-講義と実験を通して-)	7/30		

オープンカレッジ公開講座 (8/22・23, 有明高専校内)

風船が割れる瞬間の目撃者！	Free	ロボコン名人への道！	Free
コンピュータでロボット設計	Free	クリップモーターで競争だ！	Free
LEGO ロボ大作戦 2008	20名	電子情報技術の体験！	Free
電子はたるをつくらう！	Free	いろいろな化学実験を体験してみよう	Free
遊んで学ぼう化学の不思議	Free	楽しい折り紙建築	Free
楽しい理科実験	Free		



その他の活動

有明工業高等専門学校	大牟田市と医工連携に関する包括協定を締結
現代 GP 実行委員会主体	(現代GP)荒尾地域再生産学住協働プログラム
(吹奏学部ボランティア)	-まちなか研究室から食・酒づくり, まちづくり-
	福祉施設や小学校等での演奏会



▲ロボット操縦体験



▲ロボットJリーグ



▲ロボットJリーグ

外部審議会等委員

- ◎大牟田市ごみ散乱防止協議会委員
- ◎大牟田市環境審議会委員
- ◎大牟田市建築審査会会長
- ◎大牟田市事業用定期借地評議委員会委員
- ◎大牟田市都市計画審議会委員
- ◎大牟田市入札監視委員会委員
- ◎大牟田市社会福祉施設等評定委員会委員
- ◎大牟田市生涯まちづくり推進本部委員
- ◎大牟田スタートアップセンター評議委員会委員
- ◎大牟田市住宅マスタープラン審議会委員
- ◎大牟田市まちづくり基金事業審査委員会委員
- ◎大牟田市企業局公共事業評価委員
- ◎大牟田市環境リサイクル産業振興協議会副委員長
- ◎大牟田市環境リサイクル産業振興協議会委員
- ◎大牟田市産業活性化推進協議会副会長
- ◎大牟田市産業活性化推進協議会委員
- ◎大牟田市生活排水対策推進協議会委員
- ◎大牟田市地域活性化センター理事
- ◎大牟田市地域活性化センター企画運営委員
- ◎大牟田市地域活性化センター技術開発審査委員
- ◎大牟田市地域活性化センター産学官等連携研究開発事業審議会委員
- ◎大牟田自動車関連産業振興会相談役
- ◎大牟田自動車関連産業振興会委員
- ◎大牟田人材確保推進事業実行委員会委員
- ◎大牟田市医工連携・地域雇用創造推進協議会委員
- ◎大牟田市医工連携・地域雇用創造推進協議会運営委員
- ◎有明広域産業技術振興会顧問
- ◎荒尾市都市計画審議会委員
- ◎荒尾カートピア構想推進協議会委員
- ◎荒尾市公民館運営審議会委員
- ◎荒尾市スポーツ振興審議会委員
- ◎荒尾市教育サポーター推進実施委員
- ◎荒尾市立図書館協議会委員
- ◎荒尾市子どもの読書活動推進実行委員会委員
- ◎荒尾産炭地域振興センター評議員
- ◎荒尾産炭地域振興センター助成事業審査会審査員
- ◎「2030 あらお有明優都戦略」推進本部委員
- ◎久留米市伝統的町並み保存審議会委員
- ◎柳川市史編集委員会委員
- ◎柳川市文化財専門委員会委員
- ◎柳川市総合評価技術委員会委員
- ◎飯塚市文化財保護審議会委員
- ◎財団法人福岡県産炭地域振興センター評議員
- ◎九州イノベーション創出促進協議会会員委員
- ◎荒尾地域雇用戦略チーム支援委員（熊本労働局）
- ◎福岡県建築物耐震評価委員会委員
- ◎福岡県建築物耐震評価委員会専門委員会委員
- ◎佐賀県建築物耐震性能判定特別委員会委員
- ◎財団法人佐賀県土木建築技術協会構造計算適合性判定専門委員会委員
- ◎NPO法人佐賀大学スーパーネット理事



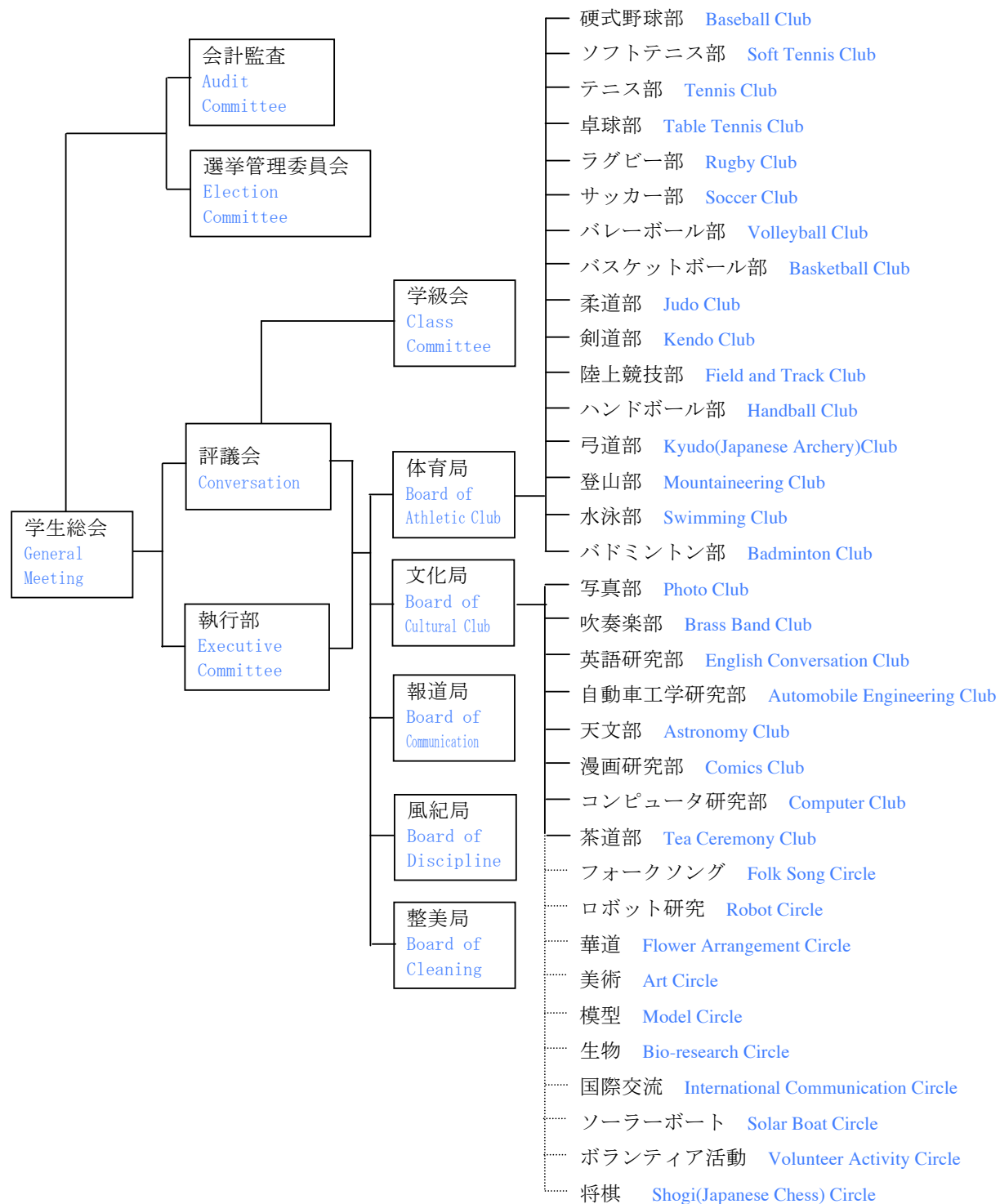
年間行事 College Calendar

4月	始業式 Opening Ceremony 入学式 Entrance Ceremony 定期健康診断 Periodical Physical Checkup 新入生歓迎行事 Event to Welcome New Students 開校記念日（20日） College Foundation Day
5月	新入生オリエンテーション Orientation for Freshmen 研修旅行（4年生） Visit to Factories for Study 春季球技大会 Inter-Class Tournament
6月	前期中間試験 Mid-Term Examination of 1st Semester 専攻科入学試験（推薦） Entrance Examination for Advanced Engineering Course 工業高校系編入学試験（推薦） Entrance Examination into 4th Grade for Technical High School Students
7月	専攻科入学試験（学力前期） Entrance Examination for Advanced Engineering Course 九州沖縄地区高専体育大会 Inter-Collegiate Athletic Meet in the Kyushu-Okinawa Area 九州沖縄地区英語弁論大会 Kyushu-Okinawa Kosen English Speech & Recitation Contest 工業高校系編入学試験（学力） Entrance Examination into 4th Grade for Technical High School Students
8月	前期末試験 Term Examination of 1st Semester 夏季休業（8/13～9/30） Summer vacation 全国高専体育大会 All Japan Inter-Collegiate Athletic Meet オープンカレッジ Open Campus ロボットJリーグ Robot J League
9月	保護者懇談会 Parent-Teacher Meeting 学校説明会 Explanatory Meeting on Entrance Examination
10月	キャンパスクリーン作業 Clean Campus Day ロボットコンテスト九州沖縄大会 Robot Contest in the Kyushu-Okinawa Area 入学説明懇談会 College Visit by Junior High School Students 体育祭 College Sports Day
11月	九州沖縄地区高専ラグビー大会 Inter-College Rugby Football Meet in Kyusyu-Okinawa Area 専攻科入学試験（学力後期） Entrance Examination for Advanced Engineering Course ロボットコンテスト全国大会 All Japan Robot Contest 後期中間試験 Mid-Term Examination of 2nd Semester
12月	冬季球技大会 Inter-Class Tournament 冬季休業（12/25～1/7） Winter Vacation
1月	吹奏楽部定期演奏会 Brass Band Concert 入学者選抜試験（推薦） Entrance Examination 専攻科ポスターセッション Poster Session of Advanced Engineering Course
2月	学年末試験 Final Examination for 5th Grade Students 入学者選抜試験（学力） Entrance Examination 終業式 Closing Ceremony
3月	卒業式・修了式 Graduation Ceremony 学年末・春季休業（3/20～3/31） Year-End Vacation



学生会 Student Council

学生会組織 Student Council



高専体育大会成績（主なもの） The Principal Records of Athletic Meets in Colleges of Technology

地区大会（団体の部） Kyushu Athletic Meets

大会名 The Number of Athletic Meets	開催年 Year	種目 Event	成績 Record
第 39 回九州地区高専体育大会 The 39th Meet	平成 14 年 2002	水泳・バスケットボール(女子)・卓球(男子) Swimming, Basketball(female), Table Tennis(male)	優勝 The 1st Prize
第 40 回 " The 40th Meet	平成 15 年 2003	バスケットボール(女子)・卓球(男子) Basketball(female), Table Tennis(male)	優勝 The 1st Prize
第 41 回九州沖縄地区高専体育大会 The 41st Meet	平成 16 年 2004	バスケットボール(女子)・テニス(女子オープン)・バドミントン(女子オープン) Basketball(female), Tennis(female=open), Badminton(female=open)	優勝 The 1st Prize
第 42 回 " The 42nd Meet	平成 17 年 2005	バスケットボール(女子) Basketball(female),	優勝 The 1st Prize
第 43 回 " The 43rd Meet	平成 18 年 2006	卓球(男子) Table Tennis(male)	優勝 The 1st Prize
第 44 回 " The 44th Meet	平成 19 年 2007	卓球(男子) Table Tennis(male)	優勝 The 1st Prize
第 45 回 " The 45th Meet	平成 20 年 2008	卓球(男子)・水泳 Table Tennis(male),Swimming	優勝 The 1st Prize

全国大会（団体の部） All Japan Athletic Meets

大会名 The Number of Athletic Meets	開催年 Year	開催地 Place	種目 Event	成績 Record
第 38 回全国高専体育大会 The 38th Meet	平成 15 年 2003	九州 Kyushu	卓球(男子)・バスケットボール(女子) Table Tennis(male), Basketball(female)	3 位 The 3rd Prize
第 39 回全国高専体育大会 The 39th Meet	平成 16 年 2004	東海・北陸 Tokai, Hokuriku	バスケットボール(女子) Basketball(female)	3 位 The 3rd Prize
第 40 回全国高専体育大会 The 40th Meet	平成 17 年 2005	甲信越 Koshinetsu	バドミントン(男子) Badminton(male)	3 位 The 3rd Prize
第 41 回全国高専体育大会 The 41st Meet	平成 18 年 2006	近畿 Kinki	バドミントン(男子) Badminton(male)	3 位 The 3rd Prize
第 42 回全国高専体育大会 The 42nd Meet	平成 19 年 2007	四国 Shikoku	バドミントン(男子)・卓球(男子) Badminton(male), Table Tennis(male)	3 位 The 3rd Prize
第 43 回全国高専体育大会 The 43rd Meet	平成 20 年 2008	北海道 Hokkaido	バドミントン(男子)・卓球(男子) Badminton(male), Table Tennis(male)	3 位 The 3rd Prize



コンテスト等成績(主なもの) The Principal Records of Contests in Colleges of Technology

ロボットコンテスト全国大会 Robot Contest

(開催年)大会名 (Year)The Name of Event	ロボット名 Robot Name	成績 Record
第 6 回大会(1993)「ステップダンス」 Step Dance	大蛇山フェスティバル号	1 回戦敗退
第 11 回大会(1998)「生命上陸」 Life Landing	スーカーパートウング	ベスト 8
第 16 回大会(2003)「鼎」 KANAE	まちっと遠くまで	1 回戦敗退
第 18 回大会(2005)「大運動会」 DAI-UNDOUKAI	Heavy 級	2 回戦敗退
第 19 回大会(2006)「ふるさと自慢特急便」 FURUSATO-JIMAN Express	Centi-Pede	ベスト 8

プログラミングコンテスト Programming Contest

開催年 場所 Year place	部門 Category	成績 Record
第 8 回大会(1997) 長岡 The 8th Meet Nagaoka	課題・自由・競技 Required, Free, Game	優秀賞・優秀賞・文部大臣賞(優勝)
第 13 回大会(2002) 石川 The 13th Meet Ishikawa	自由 Free	敢闘賞
第 15 回大会(2004) 新居浜 The 15th Meet Niihama	自由 Free	敢闘賞
第 16 回大会(2005) 米子 The 16th Meet Yonago	自由 Free	敢闘賞
第 17 回大会(2006) 茨城 The 17th Meet Ibaraki	自由 Free	審査委員特別賞

デザインコンペティション Design Competition

開催年 場所 Year place	参加コンペティション Competition	成績 Record
平成 16 年度(2004) 石川 Ishikawa	地域交流シンポジウムセッション	優秀賞
平成 17 年度(2005) 明石 Akashi	構造デザイン・環境デザイン	本戦出場・本戦出場
平成 18 年度(2006) 都城 Miyakonojo	プロポーザル	会場審査賞
平成 20 年度(2008) 高松 Takamatsu	構造デザイン	4 位

英語プレゼンテーションコンテスト English Presentation Contest

開催 Year	部門 Category	成績 Record
第 1 回大会(2007) The 1st Meet	スピーチの部 Speech	優勝



学生 Students

学科別学生定員・現員 Admission Capacity and Present Number of Students

区分 学科 Department	学級数 Class	入学定員 Admission Capacity	総定員 Total of Capacity	在学生数 Present Number of Students					
				1 学年 1st	2 学年 2nd	3 学年 3rd	4 学年 4th	5 学年 5th	合計 Total
機械工学科 Mechanical Engineering	1	40	200	43 (2)	40 (0)	44 (2) [1]	37 (1)	36 (3)	200 (8) [1]
電気工学科 Electrical Engineering	1	40	200	41 (1)	44 (3)	45 (2)	37 (0)	36 (2)	203 (8)
電子情報工学科 Electronics and Infor- mation Engineering	1	40	200	44 (9)	40 (8)	50 (12)	35 (5)	47 (13) [1]	216 (47) [1]
物質工学科 Chemical Science and Engineering	1	40	200	41 (20)	42 (18)	46 (21)	45 (20) [1]	34 (14)	208 (93) [1]
建築学科 Architecture	1	40	200	44 (12)	40 (13)	38 (13)	39 (16)	36 (9) [1]	197 (63) [1]
合計 Total	5	200	1,000	213 (44)	206 (42)	223 (50) [1]	193 (42) [1]	189 (41) [2]	1024 (219) [4]

※平成 21 年 4 月 20 日現在. ()内は女子で内数, []内は留学生で内数 As of April 20, 2009 (female students), [overseas students]

専攻科学生定員・現員 Admission Capacity and Present Number of Students (Advanced Engineering Course)

専攻名 Course	区分 Classification	入学定員 Admission Capacity	総定員 Total of Capacity	在学生数 Present Number of Students		
				1 学年 1st	2 学年 2nd	合計 Total
生産情報システム工学専攻 Advanced Production and Information System Engineering		12	24	18 (1)	23 (1)	41 (2)
応用物質工学専攻 Advanced Chemical Science and Engineering		4	8	6 (2)	8 (4)	14 (6)
建築学専攻 Advanced Architecture		4	8	7 (3)	10 (3)	17 (6)
合計 Total		20	40	31 (6)	41 (8)	72 (14)

※平成 21 年 4 月 20 日現在. ()内は女子で内数 As of April 20, 2009 (female students)

入学志願者数・倍率 Number of Applicants and Competitive Ratio of Entrance Examination

平成年度 Year	機械工学科 Mechanical Engineering	電気工学科 Electrical Engineering	電子情報工学科 Electronics and Information Engineering	物質工学科 Chemical Science and Engineering	建築学科 Architecture	合計 Total
21 2009	78(2.0)	53(1.3)	66(1.7)	97(2.4)	48(1.2)	342(1.7)
20 2008	70 (1.8)	60 (1.5)	58 (1.5)	62 (1.6)	55 (1.4)	305 (1.5)

志願者数（倍率） Applicant (Rate)



平成21年度新入生の出身地 Hometown Classification of Students (2009)

出身地 Area	人数
福岡県 Fukuoka Prefecture	
福岡市 Fukuoka City	11
大牟田市 Omuta City	39
久留米市 Kurume City	23
柳川市 Yanagawa City	10
八女市 Yame City	2
北九州市 Kitakyushu City	1
宗像市 Munakata City	1
筑後市 Chikugo City	5
大川市 Okawa City	9
福津市 Fukutsu City	1
小郡市 Ogohri City	1
筑紫野市 Chikushino City	2
春日市 Kasuga City	5
大野城市 Onojo City	5
前原市 Maebaru City	1
うきは市 Ukiha City	3
みやま市 Miyama City	5
朝倉郡 Asakura District	2
八女郡 Yame District	6
筑紫郡 Chikushi District	1

出身地 Area	人数
熊本県 Kumamoto Prefecture	
熊本市 Kumamoto City	5
荒尾市 Arao City	18
玉名市 Tamana City	15
山鹿市 Yamaga City	7
宇城市 Uki City	1
天草市 Amakusa City	1
上天草市 Kamiamakusa City	1
玉名郡 Tamana District	7
上益城郡 Kamimashiki District	1
佐賀県 Saga Prefecture	
佐賀市 Saga City	8
武雄市 Takeo City	1
神埼市 Kanzaki City	2
三養基郡 Miyaki District	1
長崎県 Nagasaki Prefecture	
佐世保市 Sasebo City	1
雲仙市 Unzen City	2
北松浦郡 Kitamatsuura District	1
合計 Total	205

学生通学状況 Students' Residence

学年 Grade	1 学年 1st	2 学年 2nd	3 学年 3rd	4 学年 4th	5 学年 5th	合計 Total
区分 Classification						
寄宿舎 Dormitory	75 (13)	57 (10)	54 (9)	42 (8)	33 (4)	261 (44)
下宿 Lodging	1 (0)	5 (0)	3 (0)	4 (3)	13 (6)	26 (9)
自宅通学 Home	137 (31)	144 (32)	166 (41)	147 (31)	143 (31)	737 (166)
合計 Total	213 (44)	206 (42)	223 (50)	193 (42)	189 (41)	1,024 (219)

※平成 21 年 4 月 20 日現在, ()内は女子で内数 As of April 20, 2009, (female students)



卒業生 Graduates

卒業生数 Number of Graduates

機械工学科 Mechanical Engineering	電気工学科 Electrical Engineering	電子情報工学科 Electronics and Information Engineering	物質工学科 Chemical Science and Engineering 工業化学科 Industrial Chemistry	建築学科 Architecture	計 Total
1,482	1,458	576	378 1,017	1,334	6,245

平成20年度卒業生の進路状況 Employment or Academic Position of Graduates(2008)

区分 Classification		学科 Department	機械工学科 Mechanical Engineering	電気工学科 Electrical Engineering	電子情報工学科 Electronics and Information Engineering	物質工学科 Chemical Science and Engineering	建築学科 Architecture	計 Total
卒業生数 Number of Graduates			34	34	31	31	41	171
就職希望者数 Number of Applicants for Employment			21	25	13	23	27	109
就職者数 Number of Employed			21	24	12	23	27	107
進学者数 Number of Admissions into Universities			12	9	14	8	14	57
その他（含む自営業） Others(including independent enterprises)			1	1	5	0	0	7
地域 Regions	県外 Other Prefectures		16	16	11	19	21	83
	県内 Fukuoka Prefecture		5	8	1	4	6	24
求人会社数 Number of Companies Concerned			708	710	617	312	258	2,605
求人倍率 Rate of Posts Offered			33.7	28.4	47.5	13.6	9.6	23.9

平成21年度大学編入学・高専専攻科進学状況 Entrance into Universities (2009)

大学等名 Names	人数 Entrances	大学等名 Names	人数 Entrances
有明高専専攻科 Ariake National College of Technology Advanced Course	31	北九州市立大学 The Univ. Of Kitakyushu	2
明石高専専攻科 Akashi National College of Technology Advanced Course	1	宮崎大学 Miyazaki Univ.	2
豊橋技術科学大学 Toyohashi Univ. of Technology	2	佐賀大学 Saga Univ.	1
熊本大学 Kumamoto Univ.	6	長崎大学 Nagasaki Univ.	2
九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	5	鹿児島大学 Kagoshima Univ.	1
大分大学 Oita Univ.	3	千葉大学 Chiba Univ.	1
		計 Total	57

平成21年度大学大学院進学状況 Entrance into Graduate Schools (2009)

大学等名 Names	人数 Entrances	大学等名 Names	人数 Entrances
九州大学大学院 Kyushu Univ.	3	京都大学大学院 Kyoto Univ.	1
大阪大学大学院 Osaka Univ.	1	佐賀大学大学院 Saga Univ.	1
九州工業大学大学院 Kyushu Institute Of Technology Univ.	2	計 Total	8



就職状況一覧表 List of Employment (2008)

学科名 会社名	機械 工学 学科	電気 工学 学科	電子 情報 工学 学科	物質 工学 学科	建築 学科	専 攻 科	合 計
アイシン精機						1	1
アカツキ建築設計					1	1	1
旭化成						1	1
アソウ・アルファ					1	1	1
アマダ						1	1
アルバック			1			1	1
エクセディ	1					1	1
NECマイクロシステム						1	1
NSK					1	1	1
NTTコムウェア九州			1			1	1
NTTネオメイト			1			1	1
NTTファシリティーズ					1	1	1
大分キャンノン		1				1	1
オーム乳業				1		1	1
オムロンリレーアンドデバイス			1			1	1
カネカ						1	1
河上信行建築事務所						1	1
川崎重工業	1					1	1
関西電力		1				1	1
かんせつ	1					1	1
関東化学				1		1	1
キャンノン	1					1	1
九州グリコ	1					1	1
九州地区国立大学法人等職員						1	1
九州電力		1				1	1
九州旅客鉄道		1				1	2
九鉄工業					1	1	1
きんでん		1				1	1
久保鉄工所	1					1	1
鴻池組					1	1	1
荻原九州	1	1				2	2
五洋建設					1	1	1
金剛		1				1	1
三機工業					1	1	1
サントリー		1		1		2	2
三松		1				1	1
三洋化成工業				2		2	2
自主検査センター						1	1
昭栄化学工業				1		1	1
昭和電工				1		1	1
JFEシビル						1	1
新菱冷熱工業					1	1	1
スズキ			1			1	1
スタンレー電気			1			1	1
住友精化				1		1	1
住友不動産					1	1	1
セイコーインスツル	1					1	1
総合設備コンサルタント					1	1	1
ソニーEMCS		3				3	3
ダイダン					2	2	2
三井三池製作所	1					1	1
三菱重工業	2			1		1	4
三菱電機システムサービス		1				1	1
室町ケミカル				1		1	1
安川情報システム		1				1	1
学科名 会社名	機械 工学 学科	電気 工学 学科	電子 情報 工学 学科	物質 工学 学科	建築 学科	専 攻 科	合 計
第一精工						1	1
大日精化工業					1	1	1
ダイハツ工業	1	1				1	3
大和ハウス工業					1	1	1
高砂熱学工業					1	1	1
武田薬品工業				1		1	1
竹中工務店					1	1	1
TAK-QS					1	1	1
田中電子工業				1		1	1
タムラ製作所						1	1
中央エンジニアリング	1					1	1
中外製薬工業			1			1	1
ディスコ		1				1	1
デンソーテクノ	1		1			2	2
東京エレクトロン				1		1	1
東建コーポレーション					1	1	1
東陶機器	1					1	1
東燃ゼネラル石油	1					1	1
東レ				2		2	2
東洋新薬				1		1	1
トクヤマ				1		1	1
戸田建設					2	2	2
トッパン・テクニカル・デザインセンター			1			1	1
凸版印刷	1					1	1
トヨタプロダクションエンジニアリング			1			1	1
名村造船所					1	1	1
ニコン						1	1
西松建設					1	1	1
ニシヨリ						1	1
日産自動車		1				1	1
日産テクノ	1	1				2	2
日東電工				1		1	1
日本海洋掘削	1					1	1
日本触媒				1		1	1
日本ペイント				1		1	1
ネットイットワークス			1			1	1
パナソニックコミュニケーションズ		1				1	1
日立化成工業				1		1	2
日立ハイテクノロジーズ	1					1	1
福岡構造					1	1	1
フジタ					1	1	1
富士ダイス						1	1
富士通		1				1	1
富士通九州システムエンジニアリング		1				1	1
本田技研工業		1				1	1
マツダ			1			1	2
万代ホーム					1	1	1
三浦工業						1	1
三井化学分析センター				1		1	1
三井ハイテック	1					1	1
三菱化学エンジニアリング		1				1	1
安川電機		1				1	2
山本設備工業					1	1	1
夢真ホールディングス						1	1
若築建設					1	1	1
計	21	24	12	23	27	22	129



施設 Facilities

区分		所在地	福岡県大牟田市	熊本県荒尾市	合計
土地 (m ²)	校舎地区		83,125		83,125
	寄宿舎地区			23,338	23,338
	職員宿舎敷地		8,353	5,228	13,581
	合計		91,478	28,566	120,044
建物 (延面積) (m ²)	校舎等		25,433		25,433
	寄宿舎等			5,684	5,684
	職員宿舎	戸数(戸)	26	17	43
		面積	1,530	1,056	2,586
	合計		26,963	6,740	33,703

校舎等建物明細 Details of College Buildings

棟別	構造※ ¹	延面積(m ²)
校舎地区 College Area		
管理棟 Administration Office Building	RC2	832
学生課棟 Administration Office Building	RC1	140
図書館 Library	RC3	1,572
情報処理センター Information Processing Center	RC3	406
一般教育北棟 North Building for General Education	RC3	2,506
一般教育南棟 South Building for General Education	RC3	1,305
共通専門棟 Building for Common Technical Course Education	RC3	319
物質工学科棟 Department of Chemical Science and Engineering	RC3	1,625
物質工学科生物棟 Building for Biological Engineering	S2	547
電気工学科棟 Department of Electrical Engineering	RC3	1,484
機械工学科棟 Department of Mechanical Engineering	RC2	869
建築学科棟 Department of Architecture	RC3	1,484
電子情報工学科棟 Department of Electronics and Information Engineering	RC5	2,224
総合研究棟 General Research Building	S4	1,602
合同教育北棟 North Multipurpose Building for Education	RC3	513
合同教育南棟 South Multipurpose Building for Education	RC3	602
実習工場棟 Workshop	RC1・S1	1,770※ ²
共同研究棟 General Research Building	S1	350
福利施設棟 Students' Hall (Shuko-Kan)	RC2	888
第1体育館 1st Gymnasium	S1	1,075
第2体育館 2nd Gymnasium	S1	908
武道場 Kendo and Judo Hall	S1	324
環境開発棟	RC2	263
サークル室	RC1	168
その他	RC1・S	1,732
小計 Subtotal		25,508
寄宿舎地区 Dormitory Area		
若葉棟 Wakaba(Living House)	RC3	1,358
青葉棟 Aoba(Living House)	RC3	648
紅葉棟 Momiji(Living House)	RC3	648
銀杏棟 Ginnan(Living House)	RC3	1,258
桜棟 Sakura(Living House)	RC4	953
食堂等その他(浴室) Dining Room (Bathroom)	RC1・B1	819
小計 Subtotal		5,684
合計 Total		31,192
野外体育施設(校舎地区)		
陸上競技場 Play Ground	400mトラックコース	
野球場 Baseball Field	1面(7,441 m ²)	
プール Swimming Pool	25m(7コース)	
弓道場 Kyudo Field	3人立	
ハンドボールコート Handball Court	2面(3,156 m ²)	
テニスコート Tennis Court	5面(3,790 m ²)	

※¹ RC:鉄筋コンクリート, S:鉄骨, B:ブロック, 数字は階数※² 機械工学科実験室 808 m²を含む

施設配置図 Campus Map



アクセスマップ Location

有明工業高等専門学校 アクセス MAP

交通機関

大牟田駅から西鉄バス15番 有明高専行

所要時間 約20分・約5Km



連絡先 Contact Us

独立行政法人国立高等専門学校機構
Institute of National Colleges of Technology

有明工業高等専門学校

Ariake National College of Technology

所在地	校舎地区	〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町 150
Address	(College)	150 Higashihagio-Machi, Omuta Fukuoka, Japan 836-8585
	寄宿舎地区	〒864-0011 熊本県荒尾市下井手 2
	(Dormitory)	2 Shimoide, Arao, Kumamoto, Japan 864-0011
e-mail	www-admin@ariake-nct.ac.jp	
URL	http://www.ariake-nct.ac.jp/	

総務課	TEL 0944-53-8611
General Affairs Division	(FAX 0944-53-1361)
学生課	TEL 0944-53-8622
Student Affairs Division	(FAX 0944-53-8862)
機械工学科	TEL 0944-53-8865 (FAX 兼用)
Department of Mechanical Engineering	
電気工学科	TEL 0944-53-8867 (FAX 兼用)
Department of Electrical Engineering	
電子情報工学科	TEL 0944-53-8873 (FAX 兼用)
Department of Electronics and Information Engineering	
物質工学科	TEL 0944-53-8869 (FAX 兼用)
Department of Chemical Science and Engineering	

建築学科	TEL 0944-53-8871 (FAX 兼用)
Department of Architecture	
一般教育科	TEL 0944-53-8876 (FAX 兼用)
Department of General Education	
図書館	TEL 0944-53-8613 (FAX 兼用)
Library	
学生相談室	TEL 0944-53-8657 (FAX 兼用)
Student Counseling Room	
寄宿舎	TEL 0944-53-8630 (FAX 兼用)
Dormitory	



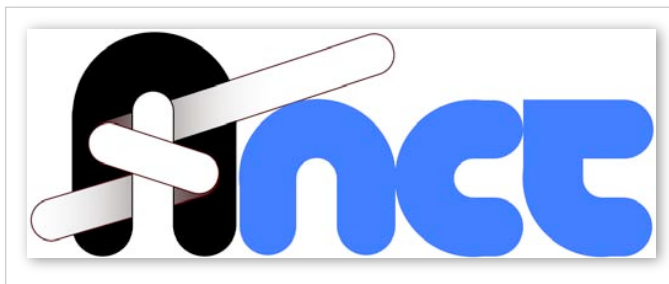
校章の由来 Origin of College Emblem



「有明海」の古来神秘の火と呼ばれる不知火（しらぬひ）は、旧暦大晦日の夜、当地の四山（よつやま）の丘から望むことができます。校章は、この燃える不知火の炎で「有明」の文字をデザインして、「高専」の文字の両側に配し、師弟の燃える情熱と学校の発展を表わしたものです。

The college name is crowned with Ariake in the Ariake Sea. The college emblem derives its origin from Shiranui in the Ariake Sea, mysterious sea fire, seen from the top of the mountain of Yotsuyama on the evening of the lunar New Year's Eve. The letters of 有明 (Ariake) are designed to signify the fire of Shiranui and arranged separately on both sides of the letters of 高専 (Kosen). It symbolizes both a passionate fire for truth and the future development of the college.

ロゴマーク Logo Mark



Ariake National College of Technology の頭文字 ANCT を図案化したもので、NCT の色は独立行政法人国立高等専門学校機構のシンボルカラーです。

A の横線は、入学者が本校で学び、スパイラルアップして実力を身につけ、社会に出ていくことを、本校のスクールカラーの枠線で、3次元的に表しています。

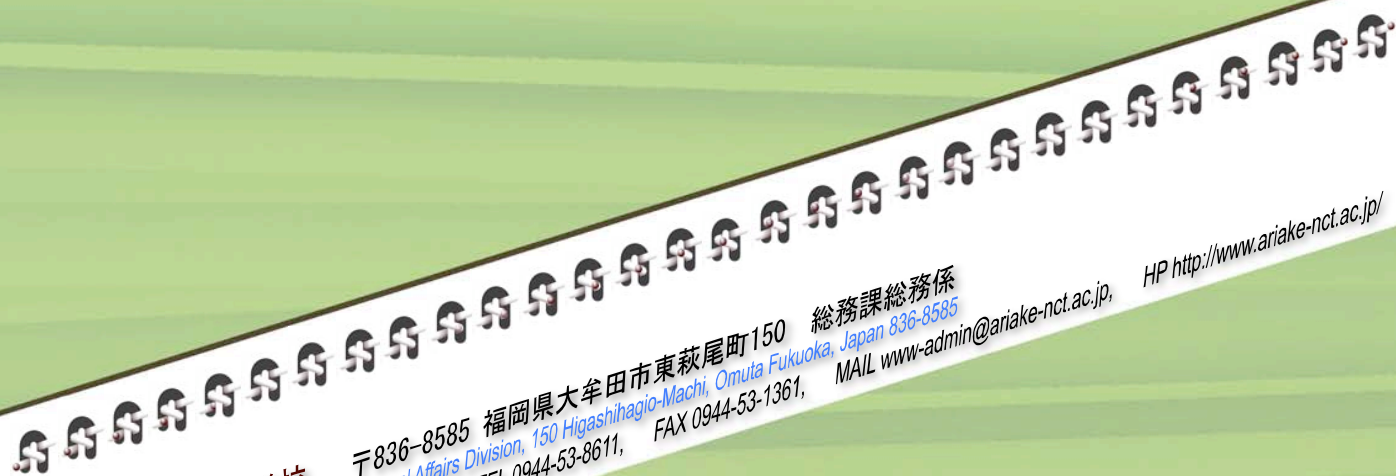
This mark is the design for the initials of Ariake National College of Technology, with the blue symbol color of Institute of National Colleges of Technology, Japan.

The white line with dark red, our school color, in frame tied to the letter A illustrates a three-dimensional image the way students enter ANCT, and start out as engineers spiraling up their ability.

校歌 College Song

竜 英二 作詞／下川 博省 作曲

- | | | |
|---|---|--|
| 1. 見はるかす 山脈晴れて
いのち澄む 丘のさみどり
みよここに建学の 理想も高く
聳えたつ われらが母校
若き眉 真理めざして
誇りあり われら有明高専 | 2. 流れ寄る 諏訪川清く
たゆみなき 琢磨ささやく
ああここに工業の 技術磨きて
炬と燃ゆる 進取の気魄
若き胸 友愛あつく
抱負あり われら有明高専 | 3. 不知火の 海はかがやき
雲仙に あがる青雲
いざここに大いなる 明日を夢みて
鍛えなん 雄飛の力
若き腕 世紀にかざし
栄えあり われら有明高専 |
|---|---|--|



有明工業高等専門学校
Ariake National College of Technology

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150 総務課総務係
General Affairs Division, 150 Higashihagio-Machi, Omuta Fukuoka, Japan 836-8585
TEL 0944-53-8611, FAX 0944-53-1361, MAIL www-admin@ariake-nct.ac.jp

HP <http://www.ariake-nct.ac.jp/>

